

# 新校開校に向けた準備委体制及びスケジュールイメージ

R8 (2026). 3. 24 教育政策課高校再編推進班

1. 新校開校に向けた準備体制

○新校設立準備委員会

構成員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員長 再編対象校の校長(統合の場合は、校長同士の協議により一方の高校の校長を充てる)</li> <li>○副委員長 再編対象校の教頭(統合の場合は、委員長とならない高校の校長を充てる)</li> <li>○委員 学識経験者(大学教員等)                      地元関係者(市町、市町教委、中学校長、商工会等)                      学校関係者(同窓会、PTA、学校評議員、学校職員等)                      県教委事務局職員 等</li> </ul> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;"><u>10名程度</u></p>
所掌事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新校設置計画に関すること(校名案、校歌・校章、スクール・ポリシー等)。</li> <li>○施設・設備の整備等に関すること。</li> <li>○新校の広報に関すること。</li> <li>○その他新校への移行の円滑な推進に関すること。</li> </ul>

2. 新校(令和9年度開校)の準備スケジュールイメージ

組織 \ 年度	令和6(2024)	令和7(2025)	令和8(2026)	令和9(2027)
教育委員会		(7月) 校名案 スクール・ミッション スクール・ポリシー	(3月) 新校設置計画	☆開校
新校設立準備委員会 <small>(開催回数は、学校により異なる)</small>	第1回   第2回   第3回	第4回   第5回   第6回	各校内で引き続き検討 	

## 栃木県立宇都宮東中等教育学校設置計画概要

### 1 新校の基本的枠組み

#### (1) 第三期県立高等学校再編計画

- ・R9 宇東高及び附属中を中等教育学校へ再編
- ・後期課程に進学に重点を置く単位制を導入

#### (2) 校名及び命名の趣旨

##### 「栃木県立宇都宮東中等教育学校」

これまでの歴史、伝統及び実績を礎として、さらなる発展を期す。

#### (3) 開校年月日 令和9(2027)年4月1日

#### (4) 設置内容

前期課程	1学年の定員：120人
後期課程	1学年の定員：120人 設置学科：普通科（単位制）

### 2 スクール・ミッション、スクール・ポリシー、教育理念（校訓）

#### (1) スクール・ミッション

6年間の計画的・継続的な教育活動と幅広い年齢集団による協働的な学びを通して、豊かな人間性を備え、社会の発展に貢献するリーダーを育成する学校

#### (2) スクール・ポリシー

##### ア グラデュエーション・ポリシー

- 豊かな人間性と深い教養を身に付け、社会の発展に貢献しようとする姿勢・態度を育成します。
- 科学的な見方や考え方を身に付け、新しい知の創造に貢献できる資質・能力を育成します。
- 未来を切り拓く意志と実践力を身に付け、リーダーとして活躍できる資質・能力を育成します。

##### イ カリキュラム・ポリシー

- 6年の幅広い異年齢集団での行事をとおして、リーダーシップを発揮できる場面を提供します。
- 「授業第一主義」のもと、個々の関心や進路希望に応じた質の高い学習活動を実施します。
- 知的好奇心を喚起し、探究心を養うための体験的な活動を実施します。
- 主体性と協調性をはぐくむ特別活動や部活動を実施します。

##### ウ アドミッション・ポリシー

- 自ら進んで取り組む姿勢をもつ児童
- 社会に関心をもち、人との関わりを大切にしている児童
- 学習意欲が高く、将来について大きな夢や希望をもつ児童
- 学校行事・生徒会活動・部活動など学校生活に積極的に取り組む児童

#### (3) 教育理念（校訓）

「正しく 剛く 寛く 正剛寛」

### 3 特色ある教育活動

#### (1) 生徒の進路実現を支える計画的・継続的かつ質の高い学習活動の展開

- ①生徒一人一人の進路実現に向けたきめ細かな学習指導及び進路指導
- ②単位制の導入による生徒の興味・関心や進路希望に応じた選択科目の開設や、数学・英語などにおける少人数授業の充実
- ③高等学校段階の学習内容の一部を前期課程に移行する（いわゆる先取り学習）など、6年間を見通した計画的・継続的な教育課程の編成

#### (2) 科学的思考を育み新しい知を創造する探究的な学びの充実

- ①スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業や課題解決学習の推進などによる、探究的な学びの更なる深化
- ②大学や研究施設、企業など地域との連携・協働による探究学習や課題研究の高度化
- ③生徒の興味・関心を高める多様な探究講座「自彊講座」等の実施

#### (3) 国際社会で活躍できる英語力の育成と多文化理解を深める学びの充実

- ①英語の4技能の向上と国際的な視野の育成を図る英語教育プログラムの実施
- ②ICTやAIなどの先進的な学習コンテンツを活用した英語教育の充実
- ③トビタテ留学ジャパンやSSH海外研修など、海外短期留学の充実
- ④英語ディベートや模擬国連など、英語系課外活動の充実

#### (4) 主体性を伸ばし協働力を培う学びの機会の充実

- ①体育祭や宇東祭など生徒が主体となり運営する学校行事の開催
- ②生徒自らが学校改革を推進する生徒会活動の充実
- ③生徒が主体的に企画運営する講演会や講義等の開催

#### (5) 豊かな人間性と未来を切り拓く力を育てる多様な学びの充実

- ①他者理解と協調性を育む異年齢集団による学習機会の充実
- ②人権や生命を尊重する意識の涵養を目指した多様な授業や特別講座の実施
- ③自己肯定感やレジリエンスの向上につながる、チャレンジする機会の充実

### 4 校歌・校章

- ・多くの同窓生及び在校生から愛され、支持されてきた経緯を十分踏まえ、これまでの校歌や校章を継承
- ・校歌は、歌詞中の「東高」を「東校」に変更



校章

### 5 施設・設備

ホームルーム教室及び講義室	・必要なホームルーム教室及び少人数授業に対応できる講義室を改修により整備 ・同一学年のホームルーム教室が同一棟及び同一階に並ぶように配置 ・改修の対象となる特別教室の移設を併せて実施
職員室	・職員室内のレイアウト等を変更するための整備を実施

# 栃木県立宇都宮清陵高等学校設置計画概要

## 1 新校の基本的枠組み

### (1) 第三期県立高等学校再編計画

- ・R9 宇清高をフレックス・ハイスクールへ再編し、宇工高定時制と宇商高定時制を統合
- ・R11 宇高通信制の収容定員の一部を新校に移設

### (2) 校名及び命名の趣旨 「栃木県立宇都宮清陵高等学校」

- ・現校名に対する地域の愛着を尊重
- ・「宇都宮清陵」に込められた建学の精神を継承していくことへの期待

### (3) 開校年月日 令和9(2027)年4月1日

### (4) 設置内容

定時制	普通科	午前部募集定員 80 人、午後部募集定員 80 人	R9～募集開始
通信制	普通科	収容定員 470 人 (R11～募集開始)	R11～募集開始

### (5) 入学者選抜

- ・「栃木県立高等学校入学者選抜の方針」(R7.6.13)に定められた各選抜を実施
- ・年度の後期から入学を許可するための「秋季選抜」を実施

## 2 スクール・ミッション、スクール・ポリシー、校訓

### (1) スクール・ミッション

一人一人の多様な学習ニーズに柔軟に応える教育活動を通して、個性を発揮しながら社会で活躍する人材を育成する学校

### (2) スクール・ポリシー

#### ア グラデュエーション・ポリシー

- 社会的自立に必要な自己管理能力と基礎的・基本的な学力を育成します。【自立】
- 目標に向けて、自ら考え、主体的に探究していく姿勢や態度を育成します。【自導】
- 自分の良さや個性を理解し、自他の人権を尊重しながら、他者と協働できる力を育成します。【自尊他尊】

#### イ カリキュラム・ポリシー

定時制課程	通信制課程
<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な選択科目や少人数授業により、一人一人の生活スタイルや学習ペースに応じた教育活動を展開します。</li> <li>○自己実現に向けたよりよい学校生活を送れるよう、スクールカウンセラー等と連携した教育支援体制を整えます。</li> <li>○一人一人の個性を生かしながら主体的・協働的に取り組める学校行事や地域との連携活動等を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の学習ペースに応じたレポート課題及び面接指導により、計画的な自学自習をサポートします。</li> <li>○学習や進路、生活に関する悩みなどにきめ細かく対応できるような支援の体制を整えます。</li> <li>○多様な価値観に触れられるコミュニケーションの場をつくり、学校行事に参画する機会を設定します。</li> </ul>

#### ウ アドミッション・ポリシー

- フレックス・ハイスクールの特色を理解し、学習に意欲的に取り組む生徒
- 将来の進路について前向きに考え、それに向かって努力しようとする生徒
- 学校や社会の規律を守り、他者を思いやることのできる生徒

### (3) 校訓

「より広く より深く そして より高く」

## 3 特色ある教育活動

### (1) 個別最適な学びを実現する教育課程と学習指導

- ① 四年制大学から就職まで、生徒の多様な進路希望に対応できる選択科目の充実や学校外学修等の活用
- ② 生徒一人一人の進路実現を目指した、基礎学力や発展的思考力を育む学習支援や受験指導の充実
- ③ 思考力・判断力・表現力を育成するための、深い学びにつながる探究活動の充実

### (2) 自己実現に向けた組織的な生徒理解及び支援

- ① 生徒の悩みや問題などの早期発見・解決に向けた、スクールカウンセラー等との連携による定期的な面談等の実施
- ② スクールソーシャルワーカー等との連携による、生徒個々の生活環境に寄り添ったきめ細かな学習・生活に関わる支援
- ③ 卒業後を見通した、一人一人のキャリア形成に有意義な講演会やセミナー等の充実

### (3) 多様性を尊重し、協働的に課題を解決する力を育む教育

- ① 自己理解や他者理解を深めるための、教育関連機関や行政機関、自治会等と連携した協働的な活動の推進
- ② 主体的に探究していく姿勢や態度を育成するための、生徒同士の学び合いの充実
- ③ 物事を計画し実行する力を育成するための、生徒主体で行う学校行事や地域活動等の実施

## 4 校歌・校章

多くの同窓生及び在校生から愛され、支持されてきた経緯を十分踏まえ、これまでの校歌や校章を継承



校章

## 5 施設・設備

大教室兼会議室	生徒一人一人の学習ニーズに応じた多様な科目選択に係るガイダンス機能等の充実のため、1学年全員が収容できる大教室を整備
介護実習教室	福祉に関する科目の導入に伴い、介護に関する体験的な学習活動を行うための教室を整備
工業実習教室	工業に関する科目の導入に伴い、電子回路やプログラミングなど電子情報に関する実践的な学習活動を行うための教室を整備
職員室	定時制課程と通信制課程の2課程を設置することに伴い、職員室を拡充して整備

# 栃木県立鹿沼華陵高等学校設置計画概要

## 1 新校の基本的枠組み

### (1) 第三期県立高等学校再編計画

- ・R9 鹿南高と鹿商工高を統合し、農業、工業、商業、家庭に関する学科を併置した未来共創型専門高校へ再編
- ・昼間定時制を併置

### (2) 校名及び命名の趣旨 「栃木県立鹿沼華陵高等学校」

- ・「華陵」は、新校所在地（花岡町）に由来し、鹿沼農商高時代から使用
- ・地域に愛される学校となることを祈念

### (3) 開校年月日 令和9（2027）年4月1日

### (4) 設置学科・募集定員

全日制	240人	農林科学科（40人）、機械・土木科（40人）、情報科学科（40人） 商業科（80人）、ライフデザイン科（40人）
定時制	40人	普通科（40人）

## 2 スクール・ミッション、スクール・ポリシー（左：全日制 右：定時制）

### (1) スクール・ミッション

地域と連携した実践的な学習活動や学科横断的な学びを通して、地域の産業を支え、未来を担う人材を育成する学校	一人一人に寄り添った教育活動を通して、自信や社会性を育み、地域を支える人材を育成する学校
--	--

### (2) スクール・ポリシーと特色ある教育活動

#### ア グラデュエーション・ポリシー

<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な他者と連携・協働し、地域産業の発展に貢献できる力を育てます。</li> <li>○職業人としての広い視野を持ち、科学的根拠に基づき課題を解決する力を育てます。</li> <li>○職業的自立を目指して、自身の生き方を主体的に考え行動する力を育てます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、自ら学び続ける力を育てます。</li> <li>○主体性や協調性を高め、他者と協働して課題を解決しようとする態度を育てます。</li> <li>○ルールやマナーを尊重し、地域社会に参画しようとする態度を育てます。</li> </ul>
---	--

#### イ カリキュラム・ポリシー（丸数字は特色ある教育活動）

<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門的な学習や地域連携を通して、勤労観や職業観を養うキャリア教育を実施します。</li> <li>①地域産業界等と連携した現場見学やインターシップ等の実施</li> <li>②先進企業や大学・研究機関等で活躍する有識者を講師とした特別講義等の実施</li> <li>③生徒の興味・関心に応じた他学科選択科目の開設</li> <li>○少人数での授業や実習などにより、専門性の高い実践的な教育活動を実施します。</li> <li>①各学科において類型や選択科目を設け、より専門的・実践的な授業の実施</li> <li>②実践的な課題解決能力の育成を目指した、少人数のグループによる実習や課題研究の実施</li> <li>③各学科の特色を活かした、社会や産業とつながる実践的な教育活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な学習内容の定着及び生徒の多様なニーズに応じた授業を実施します。</li> <li>①「学び直し」等、個に応じた手厚い指導が可能となる習熟度別授業や少人数授業の実施</li> <li>②生徒の興味・関心や多様な進路希望に対応する選択科目の開設</li> <li>③各種検定や資格試験等への積極的な挑戦の推奨</li> <li>○社会生活で必要となる教養や社会性を育成する学校行事を実施します。</li> <li>①リーダーシップや協働力を育む、生徒主体の学校行事や生徒会活動の実施</li> <li>②学年の枠を越えた各種活動・行事の実施</li> <li>③部活動や地域貢献活動への積極的な参加の奨励</li> </ul>
--	---

○学科を横断し、連携・協働しながら課題を解決する探究的な学びを実施します。

- ①総合的な探究の時間において、学科混成グループによる協働型学習の実施
- ②地域課題等に対して異なる専門分野の知識や視点を持ち寄り、多角的なアプローチをする探究活動の実践
- ③プレゼンテーション能力と情報発信能力を高めるための、探究成果発表会の実施

○生徒一人一人の能力や興味・関心、進路希望に応じたキャリア教育を実施します。

- ①進路ガイダンスや職業体験の実施
- ②進路希望の実現に向けた、丁寧な個別指導の実施
- ③地域の産業に携わる多様な方々を招いた進路行事の実施

### ウ アドミッション・ポリシー

- 基礎学力が身に付いており、専門的な学習に対して興味・関心を持っている生徒
- 進路実現に向けて粘り強く努力し、自己を高めることができる生徒
- 生徒会活動やスポーツ・文化芸術活動、ボランティア活動などに意欲的に取り組もうとする生徒

- 基礎的・基本的な学力を身に付け、さまざまな能力を伸ばしたいと思っている生徒
- 他者への思いやりを持ち、仲間と協力しながら高校生活に積極的に取り組もうとする生徒
- 社会や学校生活のマナーを守り、地域や社会へ貢献しようとする生徒

## 3 校歌・校章

校歌 作詞：水樹涼子氏、作曲：矢内弘子氏（設置計画参照）

校章 制作：齋藤叶望氏（鹿商工高生徒）

※校章のデザイン案は、保護者、生徒、同窓生及び教職員を対象に公募



校章

## 4 校地・校舎

全日制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿商工高の校地・校舎を主に使用</li> <li>・既存施設の内部改修を行うほか、農業・工業実習棟等を新築</li> <li>・農業実習には、鹿南高校地の農場等を使用</li> </ul>
定時制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿南高の校地・校舎を使用</li> </ul>

## 5 施設・設備

農業科・工業科実習棟（新築）	農業科実習教室	農業や林業の実験・実習等に対応する施設として整備 〔木材加工室 等〕
	工業科実習教室	工業の実験・実習等に対応する施設として整備 〔NC加工実習室、機械加工実習室 等〕
教室の改修	大教室	生徒の学習成果の発表・討論の場や、外部講師による特別授業や講演会など学年全員に対する一斉指導の場として、1学年全員が収容可能な大教室を整備
	コンピュータ室	高いコンピュータ処理性能を必要とする学習など、1人1台端末よりも高性能なコンピュータを使った高度な学習活動を効果的に行う施設として整備
	多目的ルーム	グループワークやディスカッション、プレゼンテーションなど主体的・対話的な学びの場や地域の方との交流等、多目的に利用できる場として整備

# 栃木県立今市高等学校設置計画概要

## 1 新校の基本的枠組み

### (1) 第三期県立高等学校再編計画

R9 今高と今工高と明峰高の3校を統合し、総合学科高校へ再編

### (2) 校名及び命名の趣旨

#### 「栃木県立今市高等学校」

所在地名とすることで、分かりやすく、地域に親しまれ、愛される学校となることを祈念

### (3) 開校年月日 令和9(2027)年4月1日

### (4) 設置学科・募集定員 総合学科(240人)

## 2 スクール・ミッション、スクール・ポリシー、生活指標

### (1) スクール・ミッション

生徒一人一人の自己実現に向けた多様な学びを通して、次代を切り拓くリーダーとして地域の発展に主体的・協働的に貢献できる人材を育成する学校

### (2) スクール・ポリシー

#### ア グラデュエーション・ポリシー

- 自己を探究し、夢や目標に向かい、生涯にわたり粘り強く学び続ける力を育成します。
- 高い志をもち、自らの意志や判断に基づき、責任をもって行動する力を育成します。
- 地域や他者と協働しながら、社会課題を解決できる力を育成します。

#### イ カリキュラム・ポリシー (丸数字は特色ある教育活動)

- 確かな学力を育むとともに、幅広い選択科目を設定し、生徒一人一人の個性を伸ばしながら多様な進路希望を実現するカリキュラムを編成します。
  - ①人文社会、自然科学、生活福祉、スポーツ・芸術、商経・情報、電子情報の6系列を設置
  - ②生徒の興味・関心や希望進路に対応できる多様な選択科目の開設
  - ③個別最適な学びを提供するための少人数授業や学習習熟度別授業等の実施
- 挑戦力・創造力・協働力を育むため、生徒が主体的に取り組む特別活動等を実施します。
  - ①チーム力向上のための生徒主体による学校行事や年次行事、生徒会活動等の実施
  - ②明確な目標設定による個々の力を十分に発揮できる部活動の実施
  - ③地域貢献活動やボランティア活動への積極的な参加の奨励
- 地域と連携したり、自己の生き方を考察したりしながら、自ら課題解決を目指す探究活動を実施します。
  - ①地域の産業・観光・文化・歴史などを通じた地元地域に関する実践的な学びの充実
  - ②地域と連携・協働し、地域の課題やその解決策を探究する活動の実施
  - ③自己探究を通して自己理解を深め進路実現につなげる探究活動の実施
- 地域や社会で活躍できる人材の育成に向けて、3年間を見通したキャリア教育を実施します。
  - ①キャリアプランニング能力を育み、主体的に進路を選択する態度を育成する進路指導の実施
  - ②将来の生き方や社会との関わりについての学びを深めるための進路ガイダンスや分野別体験授業等の実施
  - ③授業や学校行事等、教育活動全般におけるリーダーシップ教育の実施

### ウ アドミッション・ポリシー

- 基礎学力と基本的な生活習慣が身に付いていて、将来の夢や目標に向けて頑張ろうとする生徒
- 学校行事・生徒会活動・部活動等に自他を尊重しながら積極的に取り組み、自分を高める努力ができる生徒
- 疑問や課題に感じたことに対して、工夫しながら解決策を見いだそうとする熱意のある生徒
- 資格を取得したり、大会等や地域での活動に参加したりするなど、様々なことに挑戦する意欲のある生徒

### (3) 生活指標

「 進取 志高 自律 」

## 3 校歌・校章

校歌 作詞：ミマス氏、作曲：青木愛氏（設置計画参照）

校章 制作：梅澤希人氏



## 4 校地・校舎

今高の校地・校舎を使用

## 5 施設・設備

大教室・トレーニング室棟(新築)	大教室	産業社会と人間の授業や年次集会などの年次全員に対する一斉指導の場として、移動可能な机椅子や視聴覚機器等を備えた大教室を整備
	トレーニング室	スポーツ・芸術系列の導入に伴い、授業や部活動で使用するトレーニング室を整備
教室の改修	工業科実習教室	電子情報系列の導入に伴い、電子回路やプログラミングなど電子情報に関する実践的な学習活動を行うための教室を整備
	介護実習教室	生活福祉系列の導入に伴い、介護に関する体験的な学習活動を行うための教室を整備

# 栃木県立宇都宮東中等教育学校 設置計画

令和8（2026）年3月  
宇都宮東高新校設立準備委員会

## 目 次

1	新校の基本的枠組み	p. 2
2	スクール・ミッション、スクール・ポリシー、教育理念(校訓)	p. 3
3	特色ある教育活動	p. 4
4	校歌、校章	p. 5
5	施設・設備	p. 5

資料1 宇都宮東高新校設立準備委員会設置要綱

資料2 宇都宮東高新校設立準備委員会委員名簿

資料3 宇都宮東高新校設立準備実務作業部会部会員名簿

資料4 宇都宮東高新校設立準備組織体系図

資料5 宇都宮東高新校設立準備委員会の審議経過

資料6 宇都宮東高新校設立準備実務作業部会の審議経過

資料7 宇都宮東中等教育学校 令和9(2027)年度入学生教育課程表

# 1 新校の基本的枠組み

## (1) 第三期県立高等学校再編計画

令和9(2027)年度に、宇都宮東高校及び附属中学校を中等教育学校に再編する。後期課程の学科は、普通科とし、進学に重点を置く単位制を導入する。

## (2) 校名

とちぎけんりつうつのみやひがしちゅうとうきょういっくがっこう  
【校名】 「**栃木県立宇都宮東中等教育学校**」

### 【命名の趣旨】

これまで、広く社会に貢献する人材を輩出してきた歴史、伝統及び実績を礎として、中等教育学校としてのさらなる発展を目指す。

## (3) 設置場所

栃木県宇都宮市石井町3360番地1

## (4) 開校年月日

令和9(2027)年4月1日

## (5) 設置内容

【前期課程】 120人(1学年の定員)

【後期課程】 普通科、120人(1学年の定員)

## 2 スクール・ミッション、スクール・ポリシー、教育理念(校訓)

### (1) スクール・ミッション

6年間の計画的・継続的な教育活動と幅広い年齢集団による協働的な学びを通して、豊かな人間性を備え、社会の発展に貢献するリーダーを育成する学校

### (2) スクール・ポリシー

#### ア グラデュエーション・ポリシー

- 豊かな人間性と深い教養を身に付け、社会の発展に貢献しようとする姿勢・態度を育成します。
- 科学的な見方や考え方を身に付け、新しい知の創造に貢献できる資質・能力を育成します。
- 未来を切り拓く意志と実践力を身に付け、リーダーとして活躍できる資質・能力を育成します。

#### イ カリキュラム・ポリシー

- 6年の幅広い異年齢集団での行事を通して、リーダーシップを発揮できる場を提供します。
- 「授業第一主義」のもと、個々の関心や進路希望に応じた質の高い学習活動を実施します。
- 知的好奇心を喚起し、探究心を養うための体験的な活動を実施します。
- 主体性と協調性をはぐくむ特別活動や部活動を実施します。

#### ウ アドミッション・ポリシー

- 自ら進んで取り組む姿勢をもつ児童
- 社会に関心をもち、人との関わりを大切にする児童
- 学習意欲が高く、将来について大きな夢や希望をもつ児童
- 学校行事・生徒会活動・部活動など学校生活に積極的に取り組む児童

### (3) 教育理念(校訓)

正しく 剛く 寛く

鬼創正

### 3 特色ある教育活動

#### (1) 生徒の進路実現を支える計画的・継続的かつ質の高い学習活動の展開

- ① 生徒一人一人の進路実現に向けたきめ細かな学習指導及び進路指導
- ② 単位制の導入による生徒の興味・関心や進路希望に応じた選択科目の開設と、数学・英語などにおける少人数授業の充実
- ③ 高等学校段階の学習内容の一部を前期課程に移行する（いわゆる先取り学習）など、6年間を見通した計画的・継続的な教育課程の編成

#### (2) 科学的思考を育み新しい知を創造する探究的な学びの充実

- ① スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業や課題解決学習の推進などによる、探究的な学びの更なる深化
- ② 大学や研究施設、企業などとの連携・協働による探究学習や課題研究の高度化
- ③ 生徒の興味・関心を高める多様な探究講座「自彊講座」等の実施

#### (3) 国際社会で活躍できる英語力の育成と多文化理解の深化

- ① 英語の4技能の向上と国際的な視野の育成を図る英語教育プログラムの実施
- ② ICTやAIなどの先進的な学習コンテンツを活用した英語教育の充実
- ③ トビタテ留学ジャパンやSSH海外研修など、海外短期留学の充実
- ④ 英語ディベートや模擬国連など、英語系課外活動の充実

#### (4) 主体性を伸ばしリーダーシップやフォロワーシップを培う機会の充実

- ① 体育祭や宇東祭など生徒が主体となり運営する学校行事の開催
- ② 生徒自らが学校改革を推進する生徒会活動の充実
- ③ 生徒が主体的に企画運営する講演会や講義等の開催

#### (5) 豊かな人間性と未来を切り拓く力を育てる学びの機会の充実

- ① 他者理解と協調性を育む異年齢集団による学習機会の充実
- ② 人権や生命を尊重する意識の涵養を目指した多様な授業や特別講座の実施
- ③ 自己肯定感やレジリエンスの向上につながる、挑戦する機会の充実

## 4 校歌、校章（現校歌・校章を継承）

校歌や校章については、多くの同窓生及び在校生から愛され、支持されてきた経緯を十分踏まえ、これまでの校歌や校章を継承していく。校歌については、一番及び三番の「わが東高」を「わが東校」に音は変えずに漢字のみを変更（高一校）する。

### (1) 校歌

三	二	一	
雪をいたどく 男体の 空にも清く 星座かがやく 栄光を 仰ぎつつ 明日を待つ われらあり 文化を築く 誓いたのしく わが東校 永久に幸あり	鬼怒のながれに 青春の 思を託す われら若人 友情の 日を重ね たゆみなく 進むもの 真理を追いて 剛く 正しく わがゆくところ 広くはてなし	光はるかに みちわたる みどりの広野 希望燃え立つ 若松に そよぐ風 むらさきに かすむ山 自立の英気 ここに集めて わが東校 力みなぎる	勝 承夫 作詞 平井 康三郎 作曲

### (2) 校章



校章は、「宇都宮」の「う」の字と、「東中等教育学校」の「ひ」の字の組み合わせで、全体が「宇都宮」の「宮」をあらわす。

## 5 施設・設備

### (1) ホームルーム教室及び講義室

中等教育学校への再編及び単位制の導入に伴い、必要なホームルーム教室及び少人数授業に対応できる講義室を改修により整備する。なお、整備に当たっては、同一学年のホームルーム教室が同一棟及び同一階に並ぶように配置することとし、併せて、改修の対象となる特別教室の移設を併せて実施する。

### (2) 職員室

中等教育学校への再編に伴う校内組織の改編に対応するため、職員室内のレイアウト等を変更するための整備を行う。

## 資料 1

### 宇都宮東高新校設立準備委員会設置要綱

(趣 旨)

**第 1 条** この要綱は、「県立高校再編推進要綱」第 4 条の規定に基づき、宇都宮東高校及び附属中学校（以下「両校」という。）に設置する新校設立準備委員会（以下「準備委員会」という。）の運営等について、必要な事項を定めるものとする。

(組 織)

**第 2 条** 準備委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

- 2 委員長は、高校の校長をもって充てる。
- 3 副委員長は、両校の教頭をもって充てる。
- 4 委員は、学識経験者、地元関係者、学校関係者及び県教育委員会事務局職員等の中から 10 名程度を選任し、委員長が委嘱する。

(所掌事項)

**第 3 条** 準備委員会は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 新校設置計画に関すること。
- (2) 施設・設備の整備等に関すること。
- (3) 新校の広報に関すること。
- (4) その他新校への移行の円滑な推進に関すること。

(会 議)

**第 4 条** 委員長は、必要に応じて会議を招集し、これを主宰する。

- 2 委員長は、必要に応じて会議に関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。
- 3 委員長は、委員会において協議又は決定した事項については、高校再編推進本部に報告するものとする。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(実務作業部会)

**第 5 条** 準備委員会に専門的事項を調査検討するため、実務作業部会（以下「作業部会」という。）を置く。

- 2 作業部会の部会員は、委員長が指名する者をもって充てる。
- 3 作業部会の会議は、委員長が召集し、これを主宰する。
- 4 作業部会は、調査検討すべき事項ごとに、検討小部会を置くことができる。

(設置期間)

**第6条** 準備委員会の設置期間は、準備委員会が設置された日から新校が開校する年の3月31日までとする。

(庶務)

**第7条** 準備委員会の庶務は、両校の職員において処理する。

(その他)

**第8条** この要綱に定めるもののほか、準備委員会の運営等について必要な事項は、委員長が別に定める。

**附則** (令和6(2024)年1月23日付け教政第730号教育長通知)

この要綱は、令和6(2024)年2月1日から施行する。

## 資料 2

## 宇都宮東高新校設立準備委員会委員名簿

	役 職	氏 名	所 属
1	委員長	藤田 弘光	宇都宮東高等学校・附属中学校長 (令和6年11月～令和7年3月)
		山下 拓男	宇都宮東高等学校・附属中学校長 (令和7年4月～令和8年3月)
2	副委員長	吉永 政史	宇都宮東高等学校教頭 (令和6年11月～令和7年3月)
		小川 賢一	宇都宮東高等学校教頭 (令和7年4月～令和8年3月)
3	副委員長	北條 諭	宇都宮東高等学校附属中学校教頭 (令和6年11月～令和7年3月)
		水井ゆかり	宇都宮東高等学校附属中学校教頭 (令和7年4月～令和8年3月)
4	委 員	人見 久城	宇都宮大学大学院教育学研究科教授
5	委 員	川島 聡史	宇都宮市教育委員会学校教育課長 (令和6年11月～令和7年3月)
		岡村 裕一	宇都宮市教育委員会学校教育課長 (令和7年4月～令和8年3月)
6	委 員	堀場 幸伸	宇都宮市立中央小学校長 (令和6年11月～令和7年3月)
		西村 和孝	宇都宮市立ゆいの杜小学校長 (令和7年4月～令和8年3月)
7	委 員	上野 修一	宇都宮東高等学校・附属中学校同窓会長
8	委 員	竹井 茂	宇都宮東高等学校・附属中学校 PTA 会長 (令和6年11月～令和7年3月)
9	委 員	奥賀 優	宇都宮東高等学校・附属中学校 PTA 会長 (令和7年4月～令和8年3月)
10	委 員	柳 悠介	宇都宮東高等学校・附属中学校学校評議員
11	委 員	植竹 暁	県教育委員会教育政策課高校再編推進班長
12	委 員	田村 静香	県教育委員会高校教育課指導担当副主幹 (令和6年11月～令和7年3月)
		安達 常将	県教育委員会高校教育課指導担当副主幹 (令和7年4月～令和8年3月)

## 資料3

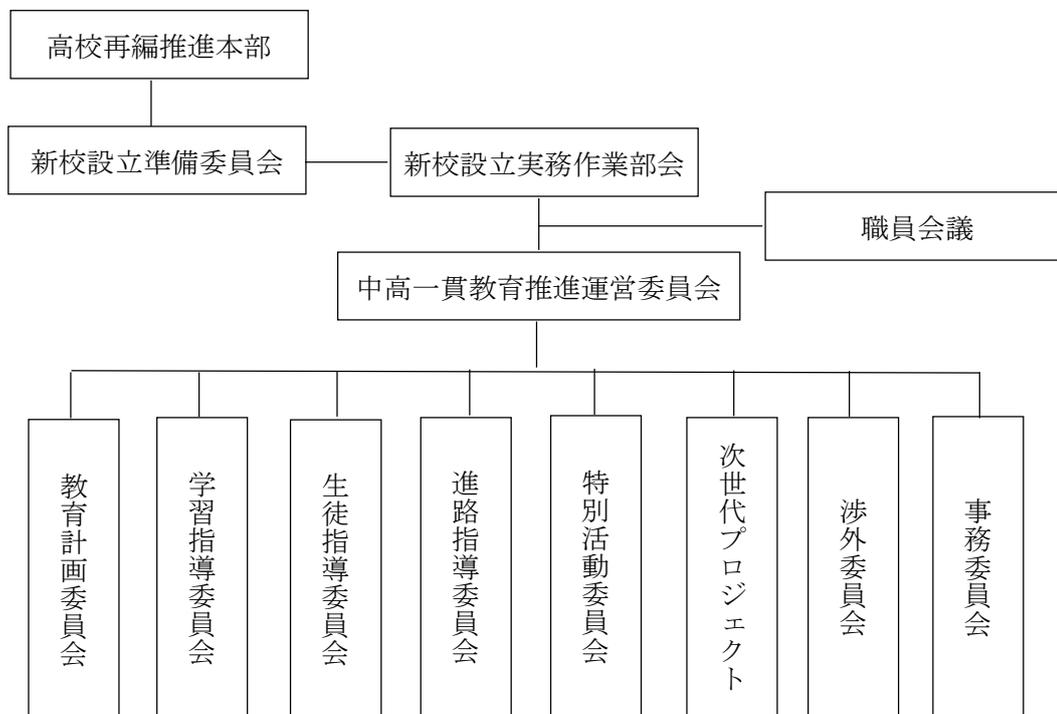
## 宇都宮東高新校設立準備実務作業部会部会員名簿

	役 職	氏 名	所 属
1	部会長	藤田 弘光	宇都宮東高等学校・附属中学校長 (令和6年11月～令和7年3月)
		山下 拓男	宇都宮東高等学校・附属中学校長 (令和7年4月～令和8年3月)
2	副部会長	吉永 政史	宇都宮東高等学校教頭 (令和6年11月～令和7年3月)
		小川 賢一	宇都宮東高等学校教頭 (令和7年4月～令和8年3月)
3	副部会長	北條 論	宇都宮東高等学校附属中学校教頭 (令和6年11月～令和7年3月)
		水井ゆかり	宇都宮東高等学校附属中学校教頭 (令和7年4月～令和8年3月)
4	部会員	田村 修	宇都宮東高等学校・附属中学校事務長
5	部会員	鈴木 啓介	宇都宮東高等学校主幹教諭
6	部会員	新田 明弘	宇都宮東高等学校教務主任
7	部会員	坂井 明美	宇都宮東高等学校附属中学校教務主任 (令和6年11月～令和7年3月)
		藤井由紀枝	宇都宮東高等学校附属中学校教務主任 (令和7年4月～令和8年3月)
8	部会員	小瀧 学	県教育委員会教育政策課高校再編推進班指導主事
9	部会員	櫻井 裕介	県教育委員会教育政策課高校再編推進班指導主事
10	部会員	福田 俊彦	県教育委員会義務教育課指導担当指導主事 (令和6年11月～令和7年3月)
		砂川 裕美	県教育委員会義務教育課指導担当副主幹 (令和7年4月～令和8年3月)
11	部会員	安達 常将	県教育委員会高校教育課指導担当指導主事 (令和6年11月～令和7年3月)
		上野 智貴	県教育委員会高校教育課指導担当指導主事 (令和7年4月～令和8年3月)

資料4

宇都宮東高新校設立準備組織体系図

1 組織図



2 各委員会の主な職務

(1) 中高一貫教育推進運営委員会

検討事項	担当者
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設立準備委員会、実務作業部会の運営、準備に関する事</li> <li>・ 全体スケジュール管理、諸業務の総括</li> <li>・ 各小委員会への提案検討、諸業務の総括</li> <li>・ 中高一貫教育推進状況全般の把握及び対応策の検討</li> <li>・ 校名、校歌、校章、校旗に関する事</li> <li>・ スクール・ミッション(案)、スクール・ポリシーの策定に関する事</li> <li>・ 校務分掌組織(統一校務分掌の作成)に関する事</li> <li>・ 入学者選抜に関する事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎鈴木啓</li> <li>○藤井〔坂井〕</li> <li>○新田</li> <li>事務長</li> <li>中教頭 高教頭</li> <li>校長</li> <li>※必要に応じ各小委員会の委員長、学年主任等</li> </ul>

(2) 各小委員会

教育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間行事全体計画の検討</li> <li>・ 学則、校内諸規定等の整理統一に関する事</li> <li>・ 学籍管理システムに関する事</li> <li>・ 時間割等に関する事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎新田</li> <li>○藤井〔坂井〕</li> <li>増淵〔零〕 宇賀神</li> <li>(中高各学年主任)</li> <li>(中高教務部)</li> </ul>
------	--	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校案内、リーフレット、HP、学校説明会等に関する事</li> <li>・小学校や学習塾等への広報活動について</li> </ul>	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上に関する事</li> <li>・中等教育学校の教育課程に関する事</li> <li>・類型、選択科目、学校設定科目等に関する事</li> <li>・日課や授業時間、授業時間数に関する事</li> <li>・履修の手引き等の作成に関する事</li> <li>・探究学習、自彊タイム、教養講座等に関する事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎宇賀神</li> <li>○池邊〔鈴木啓〕</li> <li>田所〔伊藤〕</li> <li>畑〔山崎〕</li> <li>(中高学習部)</li> </ul>
(各教科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校段階の学習内容の移行に関する事</li> <li>・前後期の各教科間の連携に関する事</li> <li>・教科書の選定に関する事</li> </ul>	(各教科担当)
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制服、学校指定物品等に関する事</li> <li>・校則、生徒心得、諸規定に関する事 (前後期課程での諸規定の統一について)</li> <li>・生徒の健康、安全、防災等に関する事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎関</li> <li>○吉澤</li> <li>仙波 井澤〔菊池〕</li> <li>(中高生徒部)</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中等教育学校のキャリア教育の計画</li> <li>・学習や進路に関する諸規定に関する事</li> <li>・キャリア教育に関する事</li> <li>・中等教育学校と大学等との接続に関する事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎大嶋</li> <li>○野尻〔田村〕</li> <li>野澤〔池邊〕</li> <li>田村〔藤井〕</li> <li>(中高進路部)</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事全般に関する事</li> <li>・年間LHR計画に関する事</li> <li>・生徒会、委員会に関する事</li> <li>・部活動の設置等に関する事 (部活動の活動形態、活動場所、部室等の調整)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎荒川〔野尻〕</li> <li>○大久保</li> <li>菊池〔野澤〕</li> <li>田村 石川 仙波</li> <li>(中高特活部)</li> </ul>
次世代プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代型社会に向けての学びの創造に関する事</li> <li>・中等教育学校の総合的な探究の時間に関する事</li> <li>・特色ある教育活動に関する事</li> <li>・大学や自治体等との連携活動に関する事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎畑〔山崎〕</li> <li>○君島〔鈴木由〕</li> <li>主幹教諭 学年主任</li> <li>教務主任 学習部長</li> <li>進路部長 学習部長</li> </ul>
渉外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同窓会(組織、会則、行事、会費等)に関する事</li> <li>・PTA(組織、会則、行事、会費等)に関する事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎鈴木秀</li> <li>○野尻</li> <li>中田</li> <li>◎藤野〔吉柴〕</li> <li>○若林〔小松〕</li> <li>田村〔若林〕</li> <li>田所〔伊藤〕</li> <li>(中高渉外部)</li> </ul>
事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備に関する事</li> <li>・新規備品等の購入に関する事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎事務長</li> <li>○古川〔渡邊〕</li> <li>熊倉 郷間〔柴崎〕</li> <li>中浦〔山中〕</li> </ul>

## 資料5

### 宇都宮東高新校設立準備委員会の審議経過

#### 第1回新校設立準備委員会

期 日 令和6(2024)年11月18日(月)

場 所 宇都宮東高等学校・附属中学校 会議室

議 事

協議事項

- 1 高校再編計画及び高校再編推進体制について
- 2 設立準備に係るスケジュール等について
- 3 設立準備に係る校内組織等について
- 4 宇都宮東高校・附属中学校の学校概要について
- 5 県立学校再編による校名変更の考え方について
- 6 宇都宮東新校のスクール・ミッション(案)
- 7 その他(学校要覧、学校案内等の資料提供について)

(協議事項の内容)

- ・高校再編計画及び高校再編推進体制等について、県教委から説明があった。
- ・設立準備に係るスケジュールについて説明があり、了承された。
- ・設立準備に係る校内組織について説明があり、了承された。
- ・宇都宮東高校・附属中学校の学校概要について説明があり、了承された。
- ・県立高校再編における校名変更の考え方について県教委から説明があり、次回委員会において選定方法案を提示することが了承された。
- ・県教委から新校のスクール・ミッション(案)について説明があり、委員から意見を聴取した。

#### 第2回新校設立準備委員会

期 日 令和6(2024)年12月19日(木)

場 所 宇都宮東高等学校・附属中学校 会議室

議 事

協議事項

- 1 スクール・ポリシーについて
- 2 校名案について
- 3 特色ある教育活動について

(協議事項の内容)

- ・スクール・ポリシーについて説明し、委員から意見を聴取した。

- ・新校の校名（案）について説明し、了承された。
- ・新校の校歌と校章について、委員から意見を聴取した。
- ・特色ある教育活動について説明し、委員から意見を聴取した。

### 第3回新校設立準備委員会

期 日 令和7（2025）年6月6日（金）

場 所 宇都宮東高等学校・附属中学校 会議室

議 事

協議事項

- 1 校名案について
- 2 校歌・校章について
- 3 スクール・ポリシー（案）について
- 4 制服の検討について
- 5 特色ある教育活動について
  - （1）本校の育成すべき資質・能力について
  - （2）スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業について
  - （3）その他

（協議事項の内容）

- ・新校の校名案について、高校再編推進本部へ提出することが了承された。
- ・新校の校歌について、歌詞中の漢字を一部変更することが了承された。
- ・新校の校章について、了承された。
- ・スクール・ポリシーについて委員から意見を聴取し、意見を踏まえた修正を事務局に一任することが了承された。
- ・現行の制服に対する課題意識等を踏まえ、制服の在り方について今後検討することが了承された。
- ・育成すべき資質・能力について説明し、委員から意見を聴取した。

### 第4回新校設立準備委員会

期 日 令和7（2025）年11月17日（月）

場 所 宇都宮東高等学校・附属中学校 会議室

議 事

協議事項

- 1 宇都宮東中等教育学校設置計画（案）について
- 2 特色ある教育活動について
- 3 その他

（協議事項の内容）

- ・特色ある教育活動について委員から意見を聴取し、意見を踏まえた修正を事務局に一任す

ることが了承された。

- ・SSH事業の取組内容について、事務局から報告された。

#### 第5回新校設立準備委員会

期 日 令和8(2026)年2月16日(月)

場 所 宇都宮東高等学校・附属中学校 会議室

議 事

協議事項

- 1 宇都宮東中等教育学校設置計画(案)について

(協議事項の内容)

- ・宇都宮東中等教育学校設置計画(案)について意見聴取を行い、意見を踏まえた修正を事務局に一任することが了承された。
- ・事務局で修正した宇都宮東中等教育学校設置計画(案)を高校再編推進本部へ提出することが了承された。

## 資料6

# 宇都宮東高新校設立準備実務作業部会の審議経過

### 第1回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和6(2024)年11月25日(月)  
場 所 宇都宮東高等学校・附属中学校 応接室  
議 事 1 スクール・ポリシーについて  
2 校名案について  
3 校歌・校章・制服について  
4 特色ある教育活動について  
5 単位制の教育課程について

### 第2回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和6(2024)年12月12日(金)  
場 所 書面開催  
議 事 1 スクール・ポリシーについて  
2 校名案について  
3 校歌・校章・制服について  
4 特色ある教育活動について

### 第3回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和7(2025)年5月27日(火)  
場 所 宇都宮東高等学校・附属中学校 応接室  
議 事 1 校名案について  
2 校歌・校章等について  
3 制服について  
4 スクール・ポリシー(案)について  
5 特色ある教育活動について  
(1) 本校の育成すべき資質・能力について  
(2) スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業について  
(3) その他

### 第4回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和7(2025)年11月10日(月)  
場 所 宇都宮東高等学校・附属中学校 応接室  
議 事 1 宇都宮東中等教育学校設置計画(案)について  
2 特色ある教育活動について  
3 その他

### 第5回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和8(2026)年2月  
場 所 書面開催  
議 事 1 宇都宮東中等教育学校設置計画(案)について  
2 その他

資料 7

栃木県立宇都宮東中等教育学校 令和9年度入学生 教育課程表

栃木県立宇都宮東中等教育学校

前期課程					後期課程														
教科等	年次	1年次	2年次	3年次	教科	年次	4年次		5年次		6年次		計		単位数				
	クラス数	4	4	4		4	2	2	2	2	2	2	2	2					
	週当たりの標準授業時数	週当たりの標準授業時数				科目	標準単位	小計	文型	理型	文型	理型	文型	理型		文型	理型		
国語	4-4-3	4	5	4	国語	現代の国語	2	2							2	2			
						言語文化	2	3							3	3			
						論理国語	4		5				4▼				4▼		
						文学国語	4			2	2			3	2			5	4
						古典探究	4			3	3			3	2			6	5
社会	3-3-4	3	3	4	地理	地理総合	2		2	2					2	2			
						地理探究	3						4▼	4			4▼	4	
						歴史総合	2	2									2	2	
						日本史探究	3			4△A				4▼			4△A		
						世界史探究	3			4△A							4△A		
						※地域からみる世界と日本	-			2◇							2◇		
					歴史	※応用世界史	-							4△A				4△A	
						※応用日本史	-							4△A				4△A	
						※世界地域研究	-								3★			3★	
						※日本史特講	-								3★			3★	
						公民	2	2										2	2
						倫理	2		2					4▼				4▼	
						政治・経済	2							4▼				4▼	
数学	4-3-4	5	5	5	数学	数学Ⅰ	3	1							1	1			
						数学Ⅱ	4	4								4	4		
						数学Ⅲ	3			3							6		
						数学A	2	1									1	1	
						数学B	2			2	2						2	2	
						数学C	2		6	1	1		文型6			2		2	2
						※応用数学	-			3							3		
						※総合数学α	-							5☆			5☆		
						※総合数学β	-							5☆			5☆		
						※数学探究α	-								2□			2□	
						※数学探究β	-								2□			2□	
理科	3-4-4	4	4	5	理科	物理基礎	2	2							2	2			
						物理	4			4▽A				4▽A			8▽		
						化学基礎	2	1									1	1	
						化学	4				4				4			8	
						生物基礎	2	1	4			4▽B			4▽B			8▽	
						生物	4												
						※科学研究	-			2									
						※応用化学	-							2△▽				2△▽	
						※応用生物	-							2△▽				2△▽	
						保健体育	3-3-3	3	3	3	保健体育	体育	7~8	2	3	2	2	文型3	
保健	2	1																2	2
音楽	1.3-1-1	1.5	1	1	芸術	音楽Ⅰ	2	2◇							2◇	2◇			
						※応用音楽	-			2◇							2◇	2◇	
美術	1.3-1-1	1.5	1	1	芸術	美術Ⅰ	2	2◇							2◇	2◇			
						※応用美術	-			2◇				2◆			2◆		
						※美術探究	-												
						書道Ⅰ	2	2◇									2◇	2◇	
						※応用書道	-										2◇	2◇	
英語	4-4-4	5	5	5	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3							3	3			
						英語コミュニケーションⅡ	4			4	4					4	4		
						英語コミュニケーションⅢ	4						4	4			4	4	
						論理表現Ⅰ	2	3									3	3	
						論理表現Ⅱ	2			2	2		文型6			文型6	2	2	
						※ライティング実践α	-						2■	2■			2■	2■	
						※ライティング実践β	-										2■	2■	
						※スピーキング&ライティング	-				2◇						2◇		
						※英文講義	-								4△			4△	
						※英語探究	-								4▼			4▼	
						※ディスカッション&プレゼンテーション	-									2◆		2◆	
家庭	2-2-1	2	2	1	家庭	家庭基礎	2	2	2	2	2				2	2			
						※SS情報	-										2	2	
道徳	1-1-1	1	1	1	情報	情報	-												
						※SS情報	-												
理数	-	-	-	-	理数	理数探究基礎(自強Ⅳ)	1	1							1	1			
						理数探究(自強Ⅴ)			1	1	1	文型1			文型1		1	1	
						理数探究(自強Ⅵ)	2~5								1	1		1	
音楽	-	-	-	-	音楽	演奏研究	2							2◆					
						演奏研究	2										2◆		
合計	-	30	30	30	合計	-	33	33	33	33			33	33	99	99			
総合的な学習の時間(自強Ⅰ)	1.4	2			総合的な学習の時間	3~6													
総合的な学習の時間(自強Ⅱ)	2		2		総合的な学習の時間	3~6													
総合的な学習の時間(自強Ⅲ)	2			2	総合的な学習の時間	3~6													
学級活動	1	1	1	1	ホームルーム	1	1	1	1	1	文1理1	1	1	文1理1	3	3			

・それぞれの年次、類型の中で、◆◇▽△☆★□■の印のついたものは、同じ印から1科目もしくは1組を選択する。・※のついた科目は学校設定科目である。  
 ・中高一貫教育校の特例により、前期課程3年次の数学、理科では、後期課程の数学Ⅰ、数学A、化学基礎、生物基礎の教育内容の一部を移行する。  
 ・4年次の数学においては、数学Ⅰ及び数学Aの履修後に数学Ⅱを履修する。  
 ・5年次理型の理科で▽<sup>A</sup>を選択した場合の6年次での▽科目選択は、▽<sup>A</sup>を選択する。  
 ・5年次理型の理科で▽<sup>B</sup>を選択した場合の6年次での▽科目選択は、▽<sup>B</sup>を選択する。  
 ・5年次文型の地歴で△<sup>A</sup>のうち、日本史探究を選択した場合は6年次に応用日本史、世界史探究の場合は応用世界史を選択する。  
 ・SSH事業の特例により、「情報Ⅰ」の2単位は、「SS情報」の2単位で代替する。  
 ・6年次文型の☆は、数学または★と◆の組で選択する。  
 ・後期課程の総合的な探究の時間については、理数探究基礎及び理数探究により代替するものとする。  
 ・この教育課程は予定であり、諸般の事情で変更することがある。

# 栃木県立宇都宮清陵高等学校 設置計画

令和8（2026）年3月  
宇都宮清陵高新校設立準備委員会

## 目 次

1	新校の基本的枠組み	p. 2
2	スクール・ミッション、スクール・ポリシー、校訓	p. 3・4
3	特色ある教育活動	p. 4・5
4	校歌、校章	p. 5
5	施設・設備	p. 6

資料1 宇都宮清陵高新校設立準備委員会設置要綱

資料2 宇都宮清陵高新校設立準備委員会委員名簿

資料3 宇都宮清陵高新校設立準備実務作業部会部会員名簿

資料4 宇都宮清陵高新校設立準備組織体系図

資料5 宇都宮清陵高新校設立準備委員会の審議経過

資料6 宇都宮清陵高新校設立準備実務作業部会の審議経過

資料7 宇都宮清陵高等学校 令和9(2027)年度入学生教育課程表

資料8 栃木県立高等学校入学者選抜の方針

# 1 新校の基本的枠組み

## (1) 第三期県立高等学校再編計画

令和9(2027)年度に、宇都宮清陵高校をフレックス・ハイスクールへ再編する。再編に伴い、宇都宮工業高校定時制と宇都宮商業高校定時制を統合するほか、令和11(2029)年度に、宇都宮高校通信制の収容定員の一部を新校に移設する。

## (2) 校名

【校名】 とちぎけんりつうつのみやせいりょうこうとうがっこう  
「栃木県立宇都宮清陵高等学校」

### 【命名の趣旨】

現校名に対する地域の愛着を尊重するとともに、新校においても、「宇都宮清陵」に込められた建学の精神を継承していくことへの期待を込める。

## (3) 設置場所

栃木県宇都宮市竹下町908番地3

## (4) 開校年月日

令和9(2027)年4月1日

## (5) 設置内容

【定時制課程】 普通科 午前部募集定員80人、午後部募集定員80人  
(令和9(2027)年度から募集開始)

【通信制課程】 普通科 収容定員470人  
(令和11(2029)年度から募集開始)

## (6) 入学者選抜

「栃木県立高等学校入学者選抜の方針」(令和7(2025)年6月13日 県教育委員会)に定められた各選抜に加え、年度の後期から入学を許可するための「秋季選抜」を行う。なお、要綱等は、県教育委員会が別に定めるものとする。

## 2 スクール・ミッション、スクール・ポリシー、校訓

### (1) スクール・ミッション

一人一人の多様な学習ニーズに柔軟に応える教育活動を通して、個性を發揮しながら社会で活躍する人材を育成する学校

### (2) スクール・ポリシー

#### ア グラデュエーション・ポリシー

○社会的自立に必要な自己管理能力と基礎的・基本的な学力を育成します。

【自立】

○目標に向けて、自ら考え、主体的に探究していく姿勢や態度を育成します。

【自導】

○自分の良さや個性を理解し、自他の人権を尊重しながら、他者と協働できる力を育成します。

【自尊他尊】

#### イ カリキュラム・ポリシー

##### (ア) 定時制課程

○多様な選択科目や少人数授業により、一人一人の生活スタイルや学習ペースに応じた教育活動を展開します。

○自己実現に向けたよりよい学校生活を送れるよう、スクールカウンセラー等と連携した教育支援体制を整えます。

○一人一人の個性を生かしながら主体的・協働的に取り組める学校行事や地域との連携活動等を実施します。

##### (イ) 通信制課程

○一人一人の学習ペースに応じたレポート課題及び面接指導により、計画的な自学自習をサポートします。

○学習や進路、生活に関する悩みなどにきめ細かく対応できるような支援の体制を整えます。

○多様な価値観に触れられるコミュニケーションの場をつくり、学校行事に参画する機会を設定します。

## ウ アドミッション・ポリシー

- フレックス・ハイスクールの特色を理解し、学習に意欲的に取り組む生徒
- 将来の進路について前向きに考え、それに向かって努力しようとする生徒
- 学校や社会の規律を守り、他者を思いやることができる生徒

### (3) 校訓

「 より広く より深く そして より高く 」

旧校における生徒指標を新校の校訓として定める。

## 3 特色ある教育活動

### (1) 個別最適な学びを実現する教育課程と学習指導

- ① 四年制大学から就職まで、生徒の多様な進路希望に対応できる選択科目の充実や学校外学修等の活用
- ② 生徒一人一人の進路実現を目指した、基礎学力や発展的思考力を育む学習支援や受験指導の充実
- ③ 思考力・判断力・表現力を育成するための、深い学びにつながる探究活動の充実

### (2) 自己実現に向けた組織的な生徒理解及び支援

- ① 生徒の悩みや問題などの早期発見・解決に向けた、スクールカウンセラー等との連携による定期的な面談等の実施
- ② スクールソーシャルワーカー等との連携による、生徒個々の生活環境に寄り添ったきめ細かな学習・生活に関わる支援
- ③ 卒業後を見通した、一人一人のキャリア形成に有意義な講演会やセミナー等の充実

### (3) 多様性を尊重し、協働的に課題を解決する力を育む教育

- ① 自己理解や他者理解を深めるための、教育関連機関や行政機関、自治会等と連携した協働的な活動の推進

- ② 主体的に探究していく姿勢や態度を育成するための、生徒同士の学び合いの充実
- ③ 物事を計画し実行する力を育成するための、生徒主体で行う学校行事や地域活動等の実施

## 4 校歌、校章（現校歌・校章を継承）

校歌や校章については、多くの同窓生及び在校生から愛され、支持されてきた経緯を十分踏まえ、これまでの校歌や校章を継承する。

### (1) 校歌

<p style="text-align: center;">三</p> <p>茜<small>あかね</small>さす 陽<small>ひ</small>はかがよいて      展<small>ひら</small>げゆく 世<small>せい</small>紀<small>き</small>の丘<small>おか</small>に      新<small>あたら</small>しき 真<small>まこと</small>理<small>こと</small>もとめて      集<small>つど</small>いし 若<small>わこうど</small>人<small>と</small>われら      いざこぞり 睦<small>むつ</small>みむつみて      花<small>はな</small>かおる 社<small>しゃ</small>会<small>かい</small>こそ築<small>つく</small>かめ      おお 宇<small>うつのみや</small>都<small>みや</small>宮<small>みや</small>清<small>せい</small>陵<small>りやう</small>高<small>こう</small>校<small>こう</small></p>	<p style="text-align: center;">二</p> <p>黒<small>くろ</small>髪<small>かみ</small>の 遠<small>とほ</small>嶺<small>ね</small>をのぞむ      飛<small>とひ</small>山<small>やま</small>の 古<small>こじ</small>城<small>じやう</small>の丘<small>おか</small>に      変<small>か</small>わるなき 道<small>みち</small>をもとめて      集<small>つど</small>いし 若<small>わこうど</small>人<small>と</small>われら      いざこぞり 鍛<small>きた</small>えきたえて      自<small>じり</small>律<small>りつ</small>の 鐘<small>かね</small>ひびかせむ      おお 宇<small>うつのみや</small>都<small>みや</small>宮<small>みや</small>清<small>せい</small>陵<small>りやう</small>高<small>こう</small>校<small>こう</small></p>	<p style="text-align: center;">一</p> <p>鬼<small>き</small>怒<small>ぬ</small>の波<small>なみ</small> いや遠<small>とほ</small>白<small>しろ</small>く      とおつ祖<small>おや</small> 拓<small>ひら</small>きし丘<small>おか</small>に      ひたすらに 英<small>えい</small>知<small>ち</small>もとめて      集<small>つど</small>いし 若<small>わこうど</small>人<small>と</small>われら      いざこぞり 磨<small>みが</small>きみがきて      創<small>そう</small>造<small>ぞう</small>の 灯<small>とも</small>火<small>し</small>かかげむ      おお 宇<small>うつのみや</small>都<small>みや</small>宮<small>みや</small>清<small>せい</small>陵<small>りやう</small>高<small>こう</small>校<small>こう</small></p>
<h1 style="margin: 0;">校 歌</h1>		

### (2) 校章



宇都宮の「ウ」を図案化し、「清陵」のイメージを表している。外側の均整のとれたふっくらとした曲線の逆三角形で「調和のとれた豊かな人間性」及び校訓の「より広く より深く」を、中の上に向かって伸びる三角形で「創造的な知性」と「自律的な精神」及び校訓の「より高く」を表現している。

## 5 施設・設備

### (1) 大教室兼会議室

生徒一人一人の学習ニーズに応じた多様な科目選択に係るガイダンス機能等の充実のため、1学年全員が収容できる大教室を整備する。

### (2) 介護実習教室

福祉に関する科目の導入に伴い、介護に関する体験的な学習活動を行うための教室を整備する。

### (3) 工業実習教室

工業に関する科目の導入に伴い、電子回路やプログラミングなど電子情報に関する実践的な学習活動を行うための教室を整備する。

### (4) 職員室

定時制課程と通信制課程の2課程を設置することに伴い、職員室を拡充して整備する。

## 宇都宮清陵高新校設立準備委員会設置要綱

(趣 旨)

**第 1 条** この要綱は、「県立高校再編推進要綱」第 4 条の規定に基づき、宇都宮清陵高校（以下「同校」という。）に設置する新校設立準備委員会（以下「準備委員会」という。）の運営等について、必要な事項を定めるものとする。

(組 織)

**第 2 条** 準備委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

2 委員長は、同校の校長をもって充てる。

3 副委員長は、同校の教頭をもって充てる。

4 委員は、学識経験者、地元関係者、学校関係者及び県教育委員会事務局職員等の中から 10 名程度を選任し、委員長が委嘱する。

(所掌事項)

**第 3 条** 準備委員会は、次に掲げる業務を行う。

(1) 新校設置計画に関すること。

(2) 施設・設備の整備等に関すること。

(3) 新校の広報に関すること。

(4) その他新校への移行の円滑な推進に関すること。

(会 議)

**第 4 条** 委員長は、必要に応じて会議を招集し、これを主宰する。

2 委員長は、必要に応じて会議に関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。

3 委員長は、委員会において協議又は決定した事項については、高校再編推進本部に報告するものとする。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(実務作業部会)

**第 5 条** 準備委員会に専門的事項を調査検討するため、実務作業部会（以下「作業部会」という。）を置く。

2 作業部会の部会員は、委員長が指名する者をもって充てる。

3 作業部会の会議は、委員長が召集し、これを主宰する。

4 作業部会は、調査検討すべき事項ごとに、検討小部会を置くことができる。

(設置期間)

**第6条** 準備委員会の設置期間は、準備委員会が設置された日から新校が開校する年の3月31日までとする。

(庶務)

**第7条** 準備委員会の庶務は、同校の職員において処理する。

(その他)

**第8条** この要綱に定めるもののほか、準備委員会の運営等について必要な事項は、委員長が別に定める。

附則（令和6（2024）年1月23日付け教政第730号教育長通知）

この要綱は、令和6（2024）年2月1日から施行する。

## 資料2

## 宇都宮清陵高新校設立準備委員会委員名簿

	役 職	氏 名	所 属
1	委 員 長	豊住 隆行	宇都宮清陵高等学校長 (令和6年4月～令和7年3月)
		小島 浩二	宇都宮清陵高等学校長 (令和7年4月～令和8年3月)
2	副委員長	村上 善彦	宇都宮清陵高等学校教頭 (令和6年4月～令和8年3月)
3	委 員	高久由紀子	宇都宮市立古里中学校長 (令和6年4月～令和7年3月)
		吉田 茂興	宇都宮市立河内中学校長 (令和7年4月～令和8年3月)
4	委 員	金子 正明	宇都宮市市民まちづくり部清原地区市民センター所長 (令和6年4月～令和7年3月)
		近藤 真琴	宇都宮市市民まちづくり部清原地区市民センター所長 (令和7年4月～令和8年3月)
5	委 員	山本 緑	宇都宮清陵高等学校同窓会長 (令和6年4月～令和8年3月)
6	委 員	本多 妙子	宇都宮清陵高等学校同窓会会計 (令和6年4月～令和8年3月)
7	委 員	佐藤 直人	宇都宮清陵高等学校PTA会長 (令和6年4月～令和7年3月)
		佐藤 晴彦	宇都宮清陵高等学校PTA会長 (令和7年4月～令和8年3月)
8	委 員	植竹 暁	県教育委員会事務局教育政策課高校再編推進班長 (令和6年4月～令和8年3月)
9	委 員	柴崎 宏庸	県教育委員会事務局高校教育課指導担当副主幹 (令和6年4月～令和8年3月)

## 資料3

## 宇都宮清陵高新校設立準備実務作業部会部会員名簿

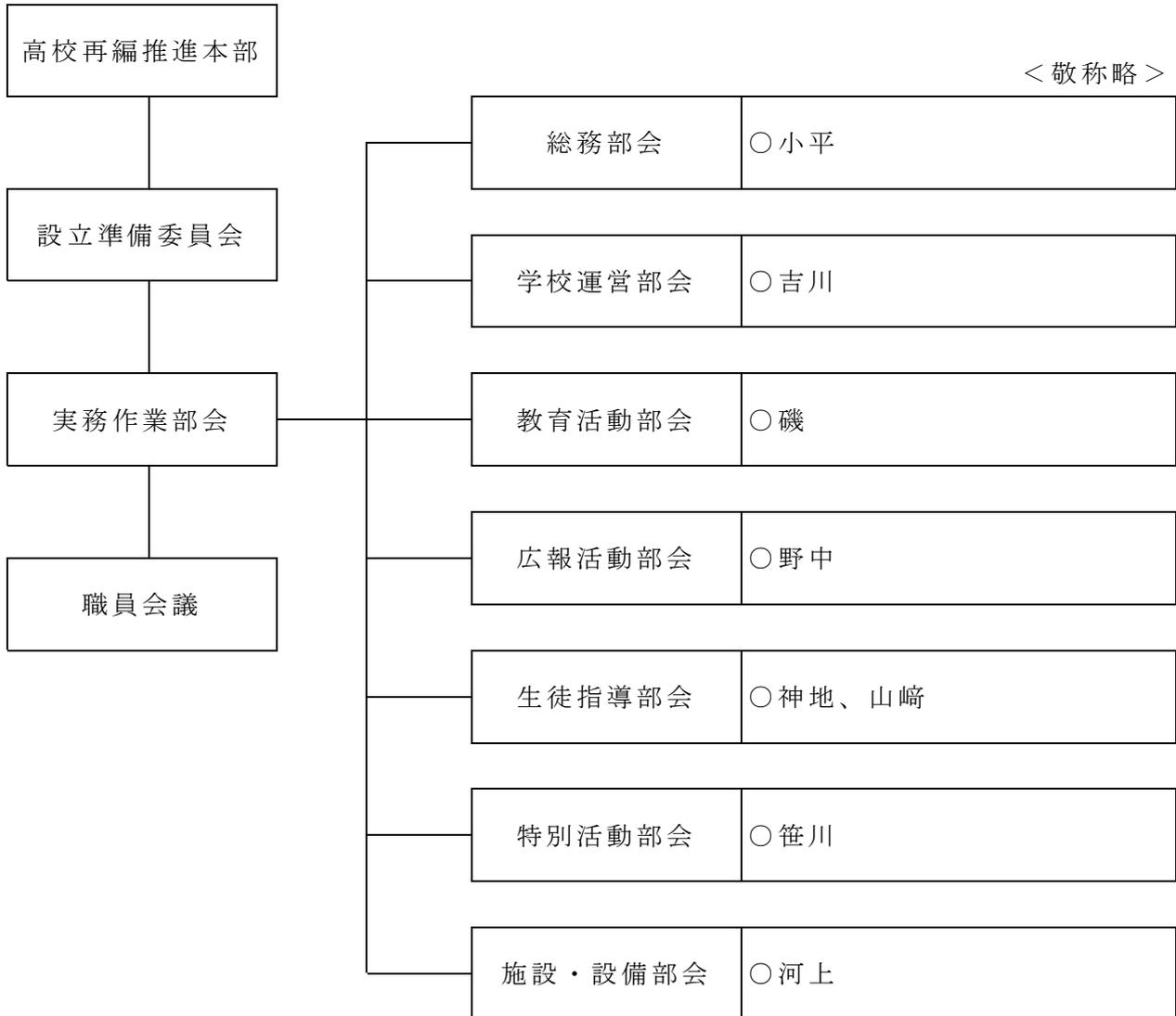
	役 職	氏 名	所 属
1	部 会 長	豊住 隆行	宇都宮清陵高等学校長 (令和6年4月～令和7年3月)
		小島 浩二	宇都宮清陵高等学校長 (令和7年4月～令和8年3月)
2	副部会長	村上 善彦	宇都宮清陵高等学校教頭 (令和6年4月～令和8年3月)
3	部会員	興野 寛久	宇都宮高等学校(通信制課程)教頭 (令和6年4月～令和8年3月)
4	部会員	赤木 潤子	宇都宮工業高等学校(定時制課程)教頭 (令和6年4月～令和7年3月)
		田村 静香	宇都宮工業高等学校(定時制課程)教頭 (令和7年4月～令和8年3月)
5	部会員	田崎 哲也	宇都宮商業高等学校(定時制課程)教頭 (令和6年4月～令和7年3月)
		沼田 考洋	宇都宮商業高等学校(定時制課程)教頭 (令和7年4月～令和8年3月)
6	部会員	鶴見 拓俊	学悠館高等学校主幹教諭 (令和6年4月～令和7年3月)
		矢野 勉	学悠館高等学校教諭 (令和7年4月～令和8年3月)
7	部会員	小平 宏之	宇都宮清陵高等学校主幹教諭 (令和6年4月～令和8年3月)
8	部会員	吉川 正智	宇都宮清陵高等学校教務主任 (令和6年4月～令和7年3月)
		宮下慎太郎	宇都宮清陵高等学校教務主任 (令和7年4月～令和8年3月)
9	部会員	磯 仁	宇都宮清陵高等学校学習指導主任 (令和6年4月～令和7年3月)
		松井 威	宇都宮清陵高等学校学習指導主任 (令和7年4月～令和8年3月)
10	部会員	吉澤 宏幸	宇都宮清陵高等学校進路指導主事 (令和6年4月～令和8年3月)

11	部会員	神地健一郎	宇都宮清陵高等学校生徒指導主事 (令和6年4月～令和7年3月)
		川上 栄二	宇都宮清陵高等学校生徒指導主事 (令和7年4月～令和8年3月)
12	部会員	笹川 久代	宇都宮清陵高等学校特活部長 (令和6年4月～令和8年3月)
13	部会員	南雲 英利	宇都宮清陵高等学校保健体育主事 (令和7年4月～令和8年3月)
14	部会員	野中美穂子	宇都宮清陵高等学校渉外部長 (令和6年度)
			宇都宮清陵高等学校教務部副部長 (令和7年度) (令和6年4月～令和8年3月)
15	部会員	伊藤 章夫	宇都宮清陵高等学校教諭 (令和6年4月～令和8年3月)
16	部会員	山崎 靖久	宇都宮清陵高等学校教諭 (令和6年4月～令和7年3月)
17	部会員	河上 正美	宇都宮清陵高等学校事務長 (令和6年4月～令和7年3月)
		村井みちよ	宇都宮清陵高等学校事務長 (令和7年3月～令和8年3月)
18	部会員	片柳 剛史	県教育委員会事務局教育政策課高校再編推進班指導主事 (令和6年4月～令和8年3月)
19	部会員	小瀧 学	県教育委員会事務局教育政策課高校再編推進班指導主事 (令和6年4月～令和8年3月)
20	部会員	濱野由紀子	県教育委員会事務局高校教育課指導担当指導主事 (令和6年4月～令和8年3月)

資料4

令和6年度 宇都宮清陵高新校設立準備組織体系図

1 組織図



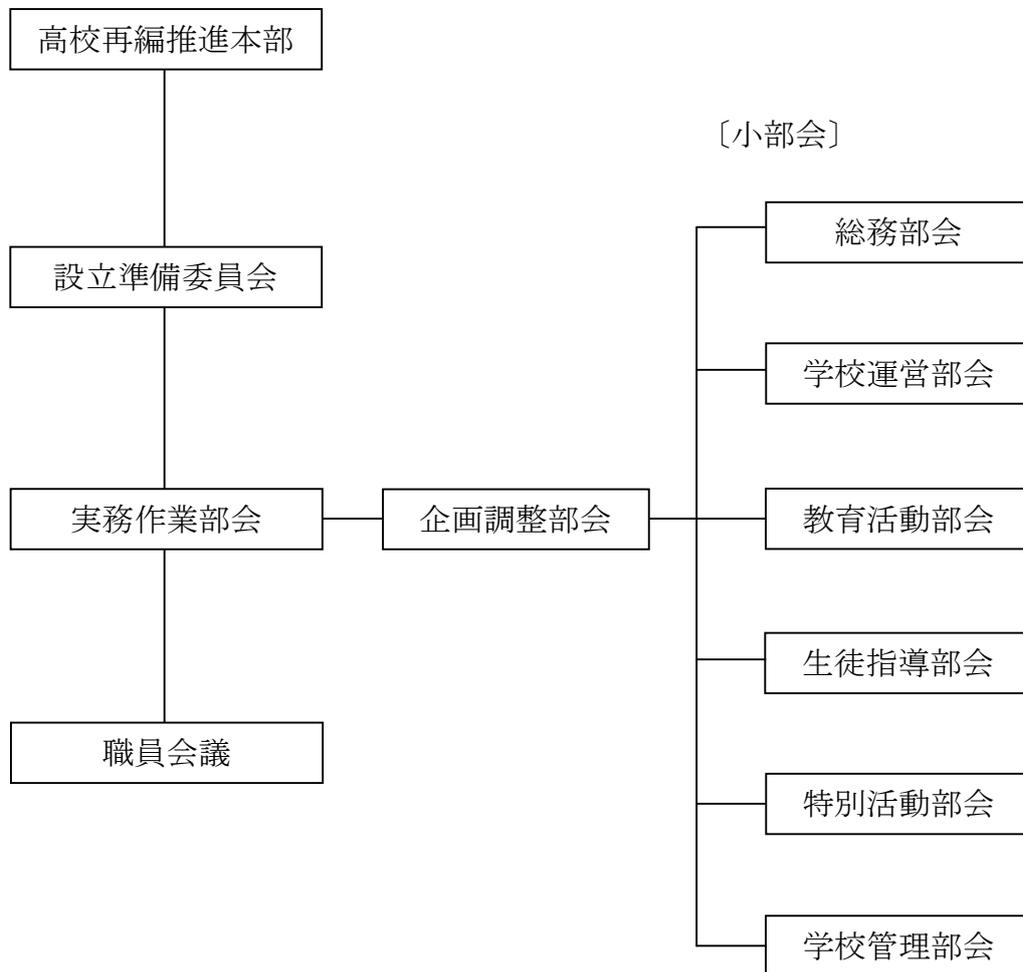
※実務作業部会全体掌握 部会長、副部会長

2 各部会事務分掌（主な業務）

総務部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールミッション・ポリシーに関すること</li> <li>・校名、校歌、校章、校旗に関すること</li> <li>・教育課程に関すること</li> <li>・入学者選抜に関すること</li> <li>・その他各小委員会だけでは解決できない事項に関すること</li> </ul>
学校運営部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学則、校内諸規定、学校組織に関すること</li> <li>・年間行事に関すること</li> <li>・日課等に関すること</li> <li>・生徒の学籍に関すること</li> <li>・教科書選定に関すること</li> <li>・施設、設備、教室割り等に関すること</li> <li>・その他教育計画全般に関すること</li> </ul>
教育活動部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導に関すること</li> <li>・進路指導に関すること</li> <li>・キャリア教育に関すること</li> <li>・学習、進路指導に関する手引作成に関すること</li> <li>・成績処理に関すること</li> <li>・その他学習、進路指導業務全般に関すること</li> </ul>
広報活動部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレット、HP、学校案内に関すること</li> <li>・一日体験学習に関すること</li> <li>・学校要覧、学校案内の作成に関すること</li> <li>・学校説明会の企画から実施に関すること</li> <li>・その他広報事業に関すること</li> </ul>
生徒指導部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制服や学校指定物品等に関すること</li> <li>・校則、生徒心得、諸届様式に関すること</li> <li>・生徒の健康面、安全安心、防災等に関すること</li> <li>・教育相談に関すること</li> <li>・その他生徒指導全般に関すること</li> </ul>
特別活動部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の設置等に関すること</li> <li>・学校行事全体に関すること</li> <li>・生徒会等の組織、規定に関すること</li> <li>・その他特別活動全般に関すること</li> </ul>
施設設備部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設、設備の改修や修繕に関すること</li> <li>・課程変更に伴うシステムの確認等に関すること</li> <li>・その他事務分掌全般に関すること</li> </ul>

# 令和7年度 宇都宮清陵高新校設立準備組織体系図

## 1 組織図



## 2 各担当の主な職務

### (1) 企画調整部会

検討事項	担当
<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立準備委員会、作業部会の運営、準備</li> <li>・全体スケジュール管理、諸業務の総括</li> <li>・各小部会の提案検討及び連絡調整</li> <li>・他校の実務作業部会委員との連絡調整</li> <li>・校内組織、職務分析に関すること</li> <li>・施設、設備に関する改修工事関係</li> <li>・その他設立に係る業務の調整に関すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実務作業部会委員 (県教委事務局職員を除く)</li> </ul> <p>(事務部)</p>

### (2) 各小部会

部会名	検討事項	担当
総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクール・ミッション、スクール・ポリシー等に関すること</li> <li>・校名、校歌・校章・校旗に関すること</li> <li>・教育課程(定時制、通信制)に関すること</li> <li>・開講科目、学校設定科目等に関すること</li> <li>・入学者選抜に関すること</li> <li>・教科書選定に関すること</li> <li>・リーフレット、HP等、広報に関すること</li> <li>・同窓会、PTAの諸規定等に関すること</li> <li>・その他、設立に係る業務に関すること</li> </ul>	主幹教諭 教務部
学校運営部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学則、校内諸規定に関すること</li> <li>・年間行事計画の調整、儀式的行事に関すること</li> <li>・学校要覧、学校案内に関すること</li> <li>・一日体験学習、学校説明会の企画・実施に関すること</li> <li>・生徒の学籍等(含;支援システム)に関すること</li> <li>・日課(時間割)等に関すること</li> <li>・履修の手引き作成等に関すること</li> <li>・その他、教務分掌全般に関すること</li> </ul>	教務部 学年主任
教育活動部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導、学習指導に関すること</li> <li>・キャリア教育、特色ある教育に関すること</li> <li>・進路、学習に係る諸規定、手引きに関すること</li> <li>・成績処理に関すること</li> <li>・修学旅行に関すること</li> <li>・図書館の運用、規定等に関すること</li> <li>・その他、進路・学習指導全般に関すること</li> </ul>	進路指導部 学習指導部 事務部
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制服、その他の学校指定物品等に関すること</li> <li>・校則、生徒心得、通学規則等生徒指導の規定</li> <li>・諸届様式等に関すること</li> <li>・生徒の健康面、安全安心、防災等に関すること</li> <li>・教育相談、特別支援教育に関すること</li> <li>・その他、生徒指導・安全面全般に関すること</li> </ul>	生活健康部
特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の設置等に関すること</li> <li>・学校行事全般に関すること</li> <li>・生徒会等の組織、規定に関すること</li> <li>・その他、特別活動全般に関すること</li> </ul>	特別活動部
学校管理部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務に関すること</li> <li>・施設、設備の改修や修繕に関すること</li> <li>・備品に関すること</li> <li>・環境整備等に関すること</li> <li>・その他、事務分掌全般に関すること</li> </ul>	事務部 生活健康部

## 資料5

# 宇都宮清陵高新校設立準備委員会の審議経過

## 第1回新校設立準備委員会

- 期 日 令和6(2024)年7月17日(水)
- 場 所 宇都宮清陵高等学校 応接室
- 議 事
- 1 第三期県立高等学校再編計画について
  - 2 設立準備に係る組織等について
  - 3 設立準備に係るスケジュールについて
  - 4 宇都宮清陵高等学校の概要説明について
  - 5 設立する新校の校名選定について

(審議内容)

- ・ 県教委から高校再編計画及び高校再編推進体制について説明があった。
- ・ 副部会長(教頭)から設立準備に係る組織等について説明があり了承された。
- ・ 副部会長から設立準備に係るスケジュールについて説明があり了承された。
- ・ 部会長(校長)から宇都宮清陵高等学校の現状について説明があった。
- ・ 県教委から校名選定要領について説明があった。

## 第2回新校設立準備委員会

- 期 日 令和6(2024)年11月27日(水)
- 場 所 宇都宮清陵高等学校 会議室
- 議 事
- 1 実務作業部会開催状況報告について
  - 2 県外先進校視察報告
  - 3 スクール・ミッションについて
  - 4 総務部会より
  - 5 学校運営部会より
  - 6 各部会の進捗状況について

(審議内容)

- ・ 副部会長から第2回実務作業部会の議事録の報告があった。
- ・ 先進校視察(群馬県立太田フレックス高等学校、群馬県立前橋清陵高等学校)の報告があった。
- ・ 県教委からスクール・ミッションについて説明があり、会議後も意見を聴取したい旨了解を得た。
- ・ 総務部会から、スクール・ポリシーについて説明があった。また、校名、校歌、校章、校旗について作成の由来の説明があり、変更の有無については継続審議となった。
- ・ 学校運営部会から学期制と日課、授業時間の説明があり、方向性(2学期制、45分授業)の了解を得た。

### 第3回新校設立準備委員会

- 期 日 令和7(2025)年2月20日(木)
- 場 所 宇都宮清陵高等学校 応接室
- 議 事
- 1 実務作業部会の進捗状況について
  - 2 県外先進校視察報告
  - 3 スクール・ミッションについて
  - 4 総務部より
  - 5 広報について
  - 6 各部会の進捗状況について

(審議内容)

- ・副部会長から第3回実務作業部会の議事録の報告があった。
- ・先進校視察(茨城県立高萩高等学校、学悠館高等学校)の報告があった。
- ・県教委からスクール・ミッションの説明があり、了承された。
- ・総務部からスクール・ポリシーについて説明があり、文言等の検討を行った。また、校名等について協議を行い、現在のものを引き継ぐ方向性が共有された。
- ・広報部会よりリーフレット案について説明があり、修正箇所の確認等を行った。
- ・教育活動部会から学習指導の概要の説明があった。また、教育相談室や談話室等の特別支援について協議を進めることの説明があった。さらに、進路指導についても概要の説明があった。
- ・生徒指導部会から制服についての説明があり、制服を定めないことで了承を得た。また、生徒心得の方向性の説明があった。
- ・施設設備部会から、県内定時制、通信制課程のある学校の施設調査結果を説明した。

### 第4回新校設立準備委員会

- 期 日 令和7(2025)年6月5日(木)
- 場 所 宇都宮清陵高等学校 会議室
- 議 事
- 1 令和7年度の組織体系について
  - 2 令和6年度設立準備委員会における主な審議内容と決定事項について
  - 3 総務部より
    - ・スクール・ポリシー及び校訓について
    - ・校名及び校歌・校章・校旗について
  - 4 その他
    - ・令和6年度作成リーフレット(令和7年度中学3年生対象)について

(審議内容)

- ・副部会長から令和7年度の組織体系について説明があり、了承された。
- ・副部会長から令和6年度の準備委員会における主な審議内容と決定事項の説明と確認を行った。
- ・総務部からスクール・ポリシーについて説明があり、内容と文言について協議を行い、

決定した。また、校訓について協議を行い、原案のとおり了承された。

- ・総務部から校名及び校歌・校章・校旗についての説明があり、現校のものを継承することです承された。
- ・総務部から今年度もリーフレット作成の提案を行い、了承された。

## 第5回新校設立準備委員会

期 日	令和7(2025)年12月9日(火)
場 所	宇都宮清陵高等学校 会議室
議 事	1 秋入学について 2 教育課程(定時制課程)と日課について 3 特色ある教育活動について 4 広報について 5 通信制課程について

(審議内容)

- ・県教委から秋入学について説明があり、了承された。
- ・総務部から教育課程(案)(定時制課程)と日課(案)について説明があり、継続して検討していくことになった。
- ・特色ある教育活動について、総務部からは多岐にわたる進路選択に対応できる教育課程と指導体制の確立について、生徒指導部会からは自己実現に向けた学習や進路、生活に対する組織的な支援体制について、教育活動部会からは多文化共生社会における課題解決への実践的な行動力を育む教育について説明があり、継続して検討していくことになった。
- ・総務部からリーフレット作成について説明があり、配布先の検討と、作成部数等の協議を行った。また、委員からホームページの活用についての提案もあった。
- ・副委員長から設置する通信制課程について、宇都宮高等学校通信制から転学してくる生徒の教育の継続も重要であることから、今後宇都宮清陵高校と宇都宮高校で検討を継続していくことです承された。

## 第6回新校設立準備委員会

期 日	令和8(2026)年2月20日(金)
場 所	宇都宮清陵高等学校 会議室
議 事	1 新校設置計画案について 2 広報(リーフレット案)について 3 令和9年度入学生教育課程表について

(審議内容)

- ・副委員長から新校設置計画(案)について資料を基に説明し、了承された。
- ・総務部からリーフレットの案が示され、一部修正意見が出たが、修正後に印刷し、現中学2年生に配付することが了承された。なお、河内教育事務所管内、芳賀教育事務

所管内、塩谷南那須教育事務所管内の中学2年生については、全生徒に配付することが了承された。

- ・総務部から令和9年度入学生教育課程表(案)の説明があり、現時点における教育課程の案が了承された。なお、今後も研究を重ね、よりよい教育課程を編成することも了承された。

## 資料6

# 宇都宮清陵高新校設立準備実務作業部会の審議経過

### 第1回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和6(2024)年7月5日(金)
- 場 所 宇都宮清陵高等学校 会議室
- 議 事
- 1 第三期県立高等学校再編計画について
  - 2 設立準備に係る組織等について  
準備委員会、実務作業部会、小委員会の役割分担について
  - 3 設立準備に係るスケジュールについて
  - 4 宇都宮清陵高等学校の概要説明について
  - 5 設立する新校の校名選定について

### 第2回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和6(2024)年9月27日(金)
- 場 所 宇都宮清陵高等学校 会議室
- 議 事
- 1 スクール・ミッションについて
  - 2 教育課程、教育方針、生徒指標、目指す学校像について
  - 3 スクール・ポリシーについて
  - 4 校訓、校名について
  - 5 学期制、日課、授業時間について
  - 6 学則、校内諸規定、学校組織について
  - 7 制服について

### 第3回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和6(2024)年10月30日(水)
- 場 所 宇都宮清陵高等学校 会議室
- 議 事
- 1 スクール・ミッションについて(継続)
  - 2 教育課程、教育方針、生徒指標、目指す学校像について(継続)
  - 3 スクール・ポリシーについて(継続)
  - 4 校訓、校名について(継続)
  - 5 学期制、日課、授業時間について(継続)
  - 6 学則、校内諸規定、学校組織について(継続)
  - 7 制服について(継続)

### 第4回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和6(2024)年12月24日(火)
- 場 所 宇都宮清陵高等学校 会議室
- 議 事
- 1 先進校視察について

- 2 教育課程、教育方針、生徒指標、目指す学校像について（継続）
- 3 スクール・ポリシーについて（継続）
- 4 校訓、校名について（継続）
- 5 学期制、日課、授業時間について（継続）
- 6 学則、校内諸規定、学校組織について（継続）
- 7 制服について（継続）
- 8 令和6年度作成・配布予定のリーフレットについて
- 9 施設、購買、図書館等に関する調査について
- 10 各校定時制課程の評価の出し方について
- 11 学校行事と部活動について

#### 第5回新校設立準備実務作業部会

- |     |   |
|-----|---|
| 期 日 | 令和7(2025)年1月17日(金)  |
| 場 所 | 宇都宮清陵高等学校 会議室   |
| 議 事 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 先進校視察について</li> <li>2 校名、教育課程について</li> <li>3 進路行事、キャリア教育全体計画について</li> <li>4 配布予定のリーフレットについて</li> <li>5 各部会の進捗状況の確認</li> </ol> |

#### 第6回新校設立準備実務作業部会

- |     |   |
|-----|---|
| 期 日 | 令和7(2025)年3月  |
| 場 所 | 書面開催  |
| 議 事 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 総務部より</li> <li>2 学校運営部会より</li> <li>3 教育活動部会より</li> <li>4 生徒指導部会より</li> <li>5 広報部会より</li> <li>6 特別活動部会より</li> <li>7 施設設備部会より</li> </ol> |

#### 第7回新校設立準備実務作業部会

- |     |   |
|-----|---|
| 期 日 | 令和7(2025)年5月19日(月)  |
| 場 所 | 宇都宮清陵高等学校 会議室   |
| 議 題 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和7年度の組織体系図及び新校設立に向けたスケジュール等について</li> <li>2 令和6年度設立準備委員会における主な審議内容と決定事項等について</li> <li>3 スクール・ポリシー及び校訓について</li> <li>4 校名及び校歌、校章、校旗について</li> </ol> |

5 令和6年度作成リーフレットについて

**第8回新校設立準備実務作業部会**

- 期 日 令和7(2025)年11月18日(火)
- 場 所 宇都宮清陵高等学校 会議室
- 議 題
- 1 秋入学について
  - 2 教育課程(定時制課程)、日課について
  - 3 特色ある教育活動について
  - 4 広報について
  - 5 通信制課程について
  - 6 特別活動部会より

**第9回新校設立準備実務作業部会**

- 期 日 令和8(2026)年2月6日(金)
- 場 所 宇都宮清陵高等学校 会議室
- 議 題
- ・設置計画(案)について
  - ・リーフレットについて
  - ・教室配置について
  - ・教育課程表(定時制課程)について
  - ・特色ある教育活動について
  - ・学則、職員の服務について

## 宇都宮清陵高等学校定時制課程 令和9年度入学生教育課程表

(専)は専門学科に関わる科目 (設)は学校設定科目(教科) ○は推奨する履修年次を示す

	科目	標準 単位	設置 単位	必 履修	半期 通年	基礎 応用	履修年次				備考	
							1年次	2年次	3年次	4年次		
国語	現代の国語	2	2	◎	半	基 基 心 心 応 応	○				※1 SとB ※2 SとB ※1履修後 ※1履修後 ※2履修後  *文型生徒向け *大学希望者向け	
	言語文化	2	2	◎	半		○					
	論理国語	4	3		通					○		
	文学国語	4	3		通				○	○		
	古典探究	4	4		通				○	○		
	(設) 作文講座	-	2		通				○	○		
	(設) ことばの世界	-	2		通				○	○		
	(設) 日本文学研究	-	2		通				○	○		
地理歴史	(設) 古典特講	-	2		通			○	○	*文型生徒向け *大学希望者向け		
	(設) 小論文講座	-	2		通			○	○			
	地理総合	2	2	◎	半	基 基 心 心 応 応		○	○			※3 ※3履修後 ※4 ※4履修後 ※5 ※4履修後 ※6  ※5履修後 ※6履修後
	地理探究	3	3	◎	通		○		○		○	
	歴史総合	2	2		半							
	日本史探究	3	3		通				○		○	
	世界史探究	3	3		通				○		○	
	(設) 郷土研究	-	2		半				○		○	
(設) 世界遺産入門	-	2		通				○	○			
(設) 日本文化史	-	3		通				○	○			
公民	(設) 世界文化史	-	3		通			○	○	※7履修後 ※7履修後		
	公共	2	2	◎	半	基		○	○		※7 ※7履修後 ※7履修後	
	倫理	2	2		通				○			○
	政治・経済	2	2		通				○			○
(設) 政経実践	-	2		半				○	○			
数学	数学I	3	4	◎	通	基 心 心 心 心 心 心 心	○	○			※8 SとB ※8履修後 ※9 ※9履修後  *理型生徒向け *文型生徒向け	
	数学II	4	3		通				○			
	数学III	3	4		通				○	○		
	数学A	2	2		半			○				
	数学B	2	3		通				○	○		
	数学C	2	2		通				○	○		
	(設) 数学実践	-	3		通				○	○		
	(設) 数学特講	-	2		通				○	○		
(設) 応用数学	-	2		通			○	○				
理科	科学と人間生活	2	2	○	半	基 基 心 心 心 心 心 心 心 心 心 心			○	○	○1△から1 or △から3 ※10 ※10履修後 ※11 ※12 ※12履修後 ※13 ※14 ※14履修後 ※15  ※11履修後(同時可) ※13履修後 ※15履修後(同時可) *文型生徒向け	
	物理基礎	2	2	△	半				○			
	物理	4	3		通				○	○		
	化学基礎	2	2	△	半			○				
	化学	4	4		通				○	○		
	生物基礎	2	2	△	半				○			
	生物	4	3		通				○	○		
	(設) ファイブイェンス	-	2		半				○	○		
	(設) 理科実践	-	2		半				○	○		
	(設) 科学の世界	-	2		通				○	○		
	(設) 応用物理	-	3		通				○	○		
	(設) 応用化学	-	3		通				○	○		
(設) 応用生物	-	3		通			○	○				
(設) 応用理科	-	2		通			○	○				
保体	体育	7~8	8	◎	通	◎	○	○	○	○		
	保健	2	2	◎	通		○	○	○	○		
芸術	(専) スポーツ概論	3~9	2		通	◎			○	○	△から1	
	音楽I	2	2	△	通			○				
	美術I	2	2	△	通			○				
	書道I	2	2	△	通			○				
	(専) 器楽	2~8	3		通				○	○		
	(専) ソロフェッシュ	2~6	3		通				○	○		
	(専) 鑑賞研究	2~4	2		通				○	○		
	(専) 絵画	2~6	3		通				○	○		
	(専) ビジネスデザイン	2~6	2		通				○	○		
	(専) 鑑賞研究	2~4	2		通				○	○		
	(設) ペン習字	-	2		通				○	○		
	英語	英語コミュニケーションI	3	3	◎		通	◎	○			
英語コミュニケーションII		4	3		通				○			
英語コミュニケーションIII		4	4		通				○	○		
論理・表現I		2	3		通				○	○		
論理・表現II		2	2		通				○	○		
(設) ビジネス英語		-	4		通				○	○		
家庭	(設) 英語文学研究	-	2		通			○	○	※19 ※19履修後 ※19履修後		
	(設) 英語特講	-	2		通			○	○			
	家庭基礎	2	2	◎	通		○					
情報	(専) 保育基礎	2~8	2		通	◎			○	○		
	(専) フードデザイン	2~8	3		通				○	○		
工業	情報I	2	2	◎	半	◎	○	○			DD(工事担任者) DD(工事担任者) DD(工事担任者) DD(工事担任者)	
	(専) 工業技術基礎	2~4	2		半				○	○		
	(専) 電気回路	4~8	3		通				○	○		
	(専) 電子回路	2~6	2		通				○	○		
	(専) 通信技術	2~6	2		通				○	○		
商業	(専) ハードウェア技術	2~8	3		通			○	○	DD(工事担任者) DD(工事担任者) DD(工事担任者) DD(工事担任者)		
	(専) ビジネス基礎	2~4	2		半			○	○			
	(専) ビジネスコミュニケーション	2~4	2		通			○	○			
	(専) 観光ビジネス	2~6	2		通			○	○			
	(専) 簿記	2~6	3		通			○	○			
福祉	(専) 情報処理	2~6	3		通			○	○	介護職員初任者研修  介護職員初任者研修 介護職員初任者研修 介護職員初任者研修		
	(専) 社会福祉基礎	2~6	2		半			○	○			
	(専) 介護福祉基礎	2~6	3		通			○	○			
	(専) コミュニケーション技術	2~4	2		通			○	○			
	(専) 生活支援技術	2~12	3		通			○	○			
外国語	(専) こころとからだの理解	2~8	2		通			○	○	*中国語、韓国語などから1 *フランス語、スペイン語などから1		
	(設) 外国語A	-	2		通			○	○			
日本語	(設) 外国語B	-	2		通			○	○	※20 ※20履修後		
	(設) にほんごI	-	2		通		○					
	(設) にほんごII	-	2		通			○				
	総合的な探究の時間	3~6	3~6	◎	通		○	○	○		○	
	ホームルーム活動	3~	3~		通		○	○	○	○		

## 資料 8

令和 9 年度入学者選抜から適用する栃木県立高等学校入学者選抜の方針を次のように定める。

令和 7（2025）年 6 月 13 日

栃木県教育委員会

### 栃木県立高等学校入学者選抜の方針

- 1 高等学校教育の普及及びその機会均等の精神にのっとり、志願者のなるべく多数を入学させるものとする。
- 2 全日制課程においては、一般選抜及び特色選抜を行うものとする。一般選抜においては、学力検査及び実技検査を実施する高等学校においては実技検査を、特色選抜においては、学力検査及び高等学校が独自に設定した方法による検査を行うものとする。
- 3 定時制課程においては、一般選抜及びフレックス特別選抜（フレックス・ハイスクールに限る）を行うものとする。一般選抜においては、学力検査及び面接を、フレックス特別選抜においては、面接及び作文を行うものとする。
- 4 通信制課程においては、面接による選抜を行うものとする。
- 5 選抜に際しては、第 2 項から第 4 項までに規定する各課程の検査の結果に加え、中学校長から送付された調査書その他必要な書類等を資料とし、各高等学校の教育を受けるに足る能力・適性等を判定して行うものとする。
- 6 中高一貫教育に係る併設型高等学校においては、当該高等学校に係る併設型中学校の生徒に対する入学者の選抜は行わないものとする。
- 7 第 2 項及び第 3 項に規定する全日制課程及び定時制課程における選抜に係る検査については、本人に帰責されない合理的な事由により、本検査当日に受検できなかった者を対象とし、追検査を行うものとする。
- 8 入学志願者が募集定員に満たない場合は、再募集を行うものとする。

#### 付 記

- 1 この選抜の方針は、令和 9 年度県立高等学校入学者選抜から適用する。

# 栃木県立鹿沼華陵高等学校 設置計画

令和8（2026）年3月  
鹿沼南高・鹿沼商工高新校設立準備委員会

## 目 次

1	新校の基本的枠組み .....	p. 2
2	スクール・ミッション、スクール・ポリシー.....	p. 3・4・5
3	校歌、校章.....	p. 6・7
4	校地・校舎 .....	p. 7
5	施設・設備 .....	p. 8

資料 1	鹿沼南高・鹿沼商工高新校設立準備委員会設置要綱
資料 2	鹿沼南高・鹿沼商工高新校設立準備委員会委員名簿
資料 3	鹿沼南高・鹿沼商工高新校設立準備実務作業部会部会員名簿
資料 4	鹿沼南高・鹿沼商工高新校設立準備組織体系図
資料 5	鹿沼南高・鹿沼商工高新校設立準備委員会の審議経過
資料 6	鹿沼南高・鹿沼商工高新校設立準備実務作業部会の審議経過
資料 7	鹿沼華陵高等学校 令和 9 (2027)年度入学生教育課程表
資料 8	鹿沼華陵高等学校 校歌・校章

# 1 新校の基本的枠組み

## (1) 第三期県立高等学校再編計画

令和9（2027）年度に鹿沼南高校と鹿沼商工高校を統合し、農業、工業、商業、家庭に関する学科を併置した未来共創型専門高校へ再編するとともに、昼間定時制を併置する。

## (2) 校名

とちぎけんりつかぬまかりょうこうとうがっこう  
【校名】 「**栃木県立鹿沼華陵高等学校**」

### 【命名の趣旨】

「華陵」は、新校の所在地である花岡町に由来し、前身である鹿沼農商高校の時代から使用されている言葉であり、地域に愛される学校となつてほしいとの願いを込める。

## (3) 設置場所

栃木県鹿沼市花岡町180番地1（花岡キャンパス）

栃木県鹿沼市みなみ町8番73号（みなみキャンパス）

## (4) 開校年月日

令和9（2027）年4月1日

## (5) 設置学科・募集定員

全日制

農林科学科 1学級（40名）

機械・土木科 1学級（40名）

情報科学科 1学級（40名）

商業科 2学級（80名）

ライフデザイン科 1学級（40名）

定時制（授業を午前中から開始）

普通科 1学級（40名）

## 2 スクール・ミッション、スクール・ポリシー

### 全日制

#### (1) スクール・ミッション

地域と連携した実践的な学習活動や学科横断的な学びを通して、  
地域の産業を支え、未来を担う人材を育成する学校

#### (2) スクール・ポリシーと特色ある教育活動

##### ア グラデュエーション・ポリシー

- 多様な他者と連携・協働し、地域産業の発展に貢献できる力を育てます。
- 職業人としての広い視野を持ち、科学的根拠に基づき課題を解決する力を育てます。
- 職業的自立を目指して、自身の生き方を主体的に考え行動する力を育てます。

##### イ カリキュラム・ポリシー（丸数字は特色ある教育活動）

- 専門的な学習や地域連携を通して、勤労観や職業観を養うキャリア教育を実施します。
  - ① 地域産業界等と連携した現場見学やインターンシップ等の実施
  - ② 先進企業や大学・研究機関等で活躍する有識者を講師とした特別講義等の実施
  - ③ 生徒の興味・関心に応じた他学科選択科目の開設
- 少人数での授業や実習などにより、専門性の高い実践的な教育活動を実施します。
  - ① 各学科において類型や選択科目を設け、より専門的・実践的な授業の実施
  - ② 実践的な課題解決能力の育成を目指した、少人数のグループによる実習や課題研究の実施
  - ③ 各学科の特色を活かした、社会や産業とつながる実践的な教育活動の実施

○学科を横断し、連携・協働しながら課題を解決する探究的な学びを実施します。

- ① 総合的な探究の時間において、学科混成グループによる協働型学習の実施
- ② 地域課題等に対して異なる専門分野の知識や視点を持ち寄り、多角的なアプローチをする探究活動の実践
- ③ プレゼンテーション能力と情報発信能力を高めるための、探究成果発表会の実施

#### ウ アドミッション・ポリシー

- 基礎学力が身に付いており、専門的な学習に対して興味・関心を持っている生徒
- 進路実現に向けて粘り強く努力し、自己を高めることができる生徒
- 生徒会活動やスポーツ・文化芸術活動、ボランティア活動などに意欲的に取り組もうとする生徒

### 定時制

#### (1) スクール・ミッション

一人一人に寄り添った教育活動を通して、自信や社会性を育み、地域を支える人材を育成する学校

#### (2) スクール・ポリシーと特色ある教育活動

##### ア グラデュエーション・ポリシー

- 基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、自ら学び続ける力を育てます。
- 主体性や協調性を高め、他者と協働して課題を解決しようとする態度を育てます。
- ルールやマナーを尊重し、地域社会に参画しようとする態度を育てます。

## イ カリキュラム・ポリシー(丸数字は特色ある教育活動)

- 基礎的・基本的な学習内容の定着及び生徒の多様なニーズに応じた授業を実施します。
  - ① 「学び直し」等、個に応じた手厚い指導が可能となる習熟度別授業や少人数授業の実施
  - ② 生徒の興味・関心や多様な進路希望に対応する選択科目の開設
  - ③ 各種検定や資格試験等への積極的な挑戦の推奨
- 社会生活で必要となる教養や社会性を育成する学校行事を実施します。
  - ① リーダーシップや協働力を育む、生徒主体の学校行事や生徒会活動の実施
  - ② 学年の枠を越えた各種活動・行事の実施
  - ③ 部活動や地域貢献活動への積極的な参加の奨励
- 生徒一人一人の能力や興味・関心、進路希望に応じたキャリア教育を実施します。
  - ① 進路ガイダンスや職業体験の実施
  - ② 進路希望の実現に向けた、丁寧な個別指導の実施
  - ③ 地域の産業に携わる多様な方々を招いた進路行事の実施

## ウ アドミッション・ポリシー

- 基礎的・基本的な学力を身に付け、さまざまな能力を伸ばしたいと思っている生徒
- 他者への思いやりを持ち、仲間と協力しながら高校生活に積極的に取り組もうとする生徒
- 社会や学校生活のマナーを守り、地域や社会へ貢献しようとする生徒

### 3 校歌、校章

#### (1) 校歌

作詞 水樹涼子

作曲 矢内弘子

一 流れる水を見つめてごらん 生きる<sup>かたち</sup>形を教えてくれる  
鏡の向こうを<sup>なが</sup>眺めてごらん 真実<sup>しん</sup>の姿が現れる  
<sup>いっせんにち</sup>一千日の朝日を浴びて <sup>さんまんにち</sup>三万日の未来へ<sup>いた</sup>到る  
ああ<sup>いしずえ</sup>礎は 鹿沼の大地 華陵高校

二 選んだ道に誇りをもって <sup>みが</sup>研いた<sup>わざ</sup>技に自信をつける  
<sup>うぶすな</sup>産土の地で生き抜くことを <sup>こきょう</sup>故郷の山も待っている  
<sup>いっせんかい</sup>一千回の努力の果てに <sup>あした</sup>一億人の<sup>ひら</sup>明日を拓く  
ああ<sup>か</sup>架け橋は 鹿沼の希望 華陵高校

三 <sup>ごうう</sup>豪雨の春は<sup>ひさし</sup>庇になって <sup>もうしよ</sup>猛暑の夏は<sup>こかげ</sup>木陰をつくる  
誰かを守る勇気をもって <sup>たいじゆ</sup>大樹のような人になる  
<sup>いくせんじょう</sup>幾千条の想いを<sup>おも</sup>刻み <sup>いくせんまん</sup>幾千万の<sup>ひとみ</sup>瞳を<sup>て</sup>照らす  
ああいつまでも 鹿沼に<sup>つど</sup>集う 華陵高校  
母校よ <sup>とわ</sup>永遠に

## (2) 校章



### 意匠解説

鹿沼市の伝統工芸品「鹿沼組子」をモチーフとしている。組子は、異なる形の様々なパーツを丁寧に組み合わせることで、美しく調和のとれた作品となる。この特徴を新校における学びの姿に重ね合わせ、生徒一人一人が自らの個性を活かしながら互いに関わり合うことで、多様な学びを経験し、地域社会とのつながりを深めながら、成長し活躍してほしいという思いを込めた。

(鹿沼商工高校生徒 齋藤 叶望)

## 4 校地・校舎

全日制は、鹿沼商工高校の校地・校舎を主に使用し、既存施設の内部改修を行うほか、農業・工業実習棟等を新築する。農業実習の際には、鹿沼南高校の校地にある農場等を使用する。定時制は、鹿沼南高校の校地・校舎を使用する。

## 5 施設・設備

農業科・工業科実習棟の新築及び既存教室の改修により実習教室等を整備する。

### (1) 農業科実習教室

農業や林業の実験・実習等に対応する施設として整備する。

木材加工室、食品加工室 等

### (2) 工業科実習教室

工業の実験・実習等に対応する施設として整備する。

NC加工実習室、機械加工実習室 等

### (3) 家庭科実習教室

衣食住に関する知識・技術の習得等に対応する施設として整備する。

家庭経営保育室、第2調理実習室

### (4) 大教室

生徒の学習成果の発表・討論の場や、外部講師による特別授業や講演会など学年全員に対する一斉指導の場として、移動可能な机椅子や視聴覚機器等を備えた、1学年全員(240人)が収容可能な面積を有する大教室を整備する。

### (5) 多目的ルーム

グループワークやディスカッション、プレゼンテーションなど主体的・対話的な学びの場や地域の方との交流等、多目的に利用できる場として、多目的ルームを整備する。

### (6) コンピュータ室

高いコンピュータ処理性能を必要とする学習など、1人1台端末よりも高性能なコンピュータを使った高度な学習活動を効果的に行う施設として整備する。

## 資料1

### 鹿沼南高・鹿沼商工高新校設立準備委員会設置要綱

(趣 旨)

**第1条** この要綱は、「県立高校再編推進要綱」第4条の規定に基づき、鹿沼南高校及び鹿沼商工高校（以下「両校」という。）に設置する新校設立準備委員会（以下「準備委員会」という。）の運営等について、必要な事項を定めるものとする。

(組 織)

**第2条** 準備委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

- 2 委員長は、両校の校長の協議により、一方の高校の校長をもって充てる。
- 3 副委員長は、前項において委員長とならない高校の校長をもって充てる。
- 4 委員は、学識経験者、地元関係者、学校関係者及び県教育委員会事務局職員等の中から10名程度を選任し、委員長が委嘱する。

(所掌事項)

**第3条** 準備委員会は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 新校設置計画に関すること。
- (2) 施設・設備の整備等に関すること。
- (3) 新校の広報に関すること。
- (4) その他新校への移行の円滑な推進に関すること。

(会 議)

**第4条** 委員長は、必要に応じて会議を招集し、これを主宰する。

- 2 委員長は、必要に応じて会議に関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。
- 3 委員長は、委員会において協議又は決定した事項については、高校再編推進本部に報告するものとする。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(実務作業部会)

**第5条** 準備委員会に専門的事項を調査検討するため、実務作業部会（以下「作業部会」という。）を置く。

- 2 作業部会の部会員は、委員長が指名する者をもって充てる。
- 3 作業部会の会議は、委員長が召集し、これを主宰する。
- 4 作業部会は、調査検討すべき事項ごとに、検討小部会を置くことができる。

(設置期間)

**第6条** 準備委員会の設置期間は、準備委員会が設置された日から新校が開校

する年の3月31日までとする。

(庶務)

**第7条** 準備委員会の庶務は、両校の職員において処理する。

(その他)

**第8条** この要綱に定めるもののほか、準備委員会の運営等について必要な事項は、委員長が別に定める。

**附則** (令和6(2024)年1月23日付け教政第730号教育長通知)

この要綱は、令和6(2024)年2月1日から施行する。

## 資料2

## 鹿沼南高・鹿沼商工高新校設立準備委員会委員名簿

	役 職	氏 名	所 属
1	委 員 長	鶴見 浩司	鹿沼商工高等学校長
2	副委員長	石嶋 幸夫	鹿沼南高等学校長 (令和6年4月～令和7年3月)
		橋本 智	鹿沼南高等学校長 (令和7年4月～令和8年3月)
3	委 員	羽山 好明	鹿沼市教育委員会学校教育課長
4	委 員	湯澤 正弘	鹿沼市立東中学校長
5	委 員	松島 明	鹿沼南高等学校同窓会長
6	委 員	早山 雅之	鹿沼商工高等学校同窓会長
7	委 員	羽山 潔	鹿沼南高等学校元校長・評議員
8	委 員	星野 昭夫	鹿沼商工高等学校元評議員
9	委 員	植竹 暁	県教育委員会教育政策課高校再編推進班長
10	委 員	高松 秀行	県教育委員会高校教育課指導担当副主幹 (GL) (令和6年4月～令和7年3月)
		中村 美樹	県教育委員会高校教育課指導担当副主幹 (令和7年4月～令和8年3月)

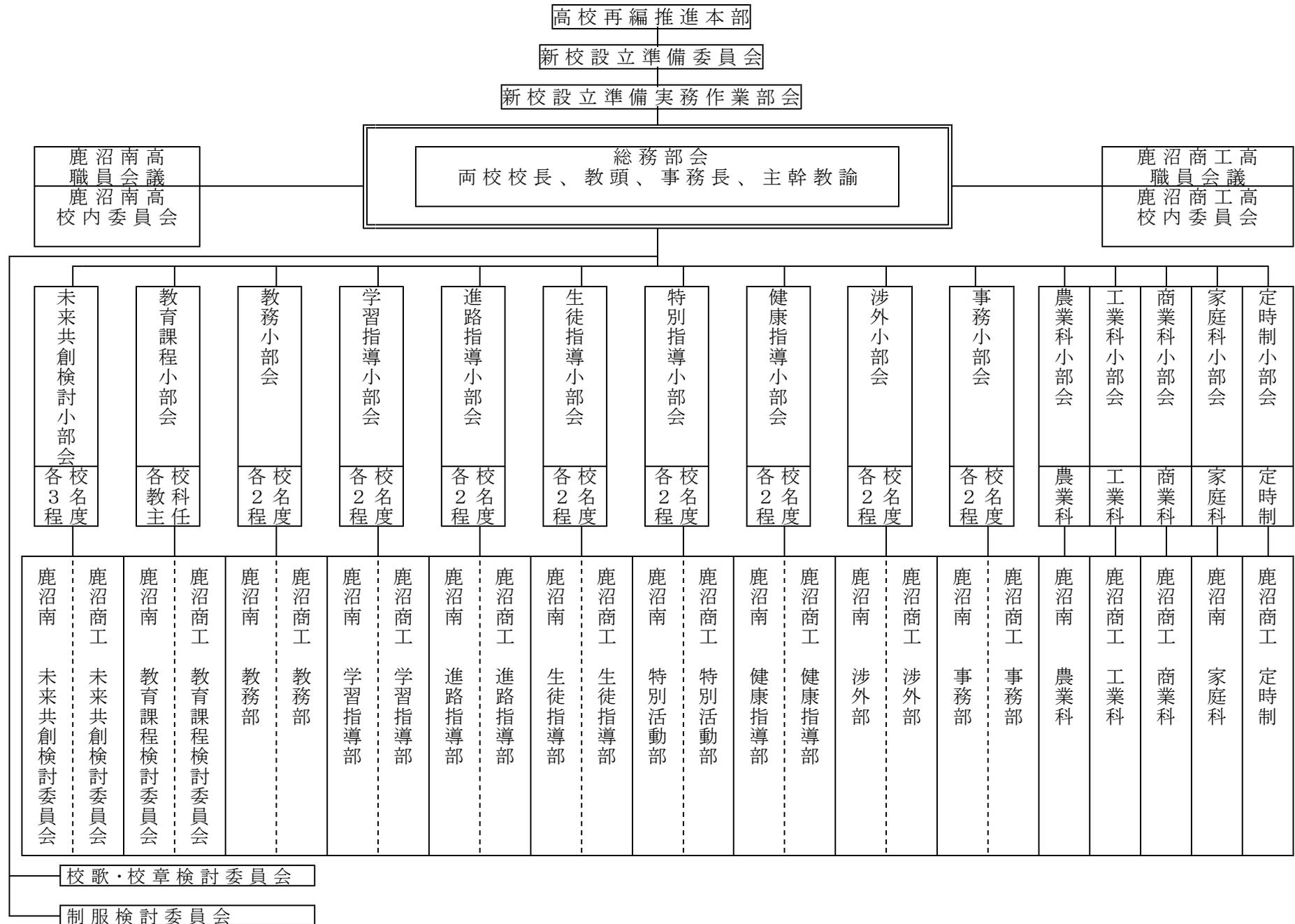
## 資料3

## 鹿沼南高・鹿沼商工高新校設立準備実務作業部会部会員名簿

	役 職	氏 名	所 属
1	部 会 長	鶴見 浩司	鹿沼商工高等学校長
2	副部会長	石嶋 幸夫	鹿沼南高等学校長 (令和6年4月～令和7年3月)
		橋本 智	鹿沼南高等学校長 (令和7年4月～令和8年3月)
3	部 会 員	岩本 敏央	鹿沼南高等学校教頭 (令和6年4月～令和7年3月)
		福井 智之	鹿沼南高等学校教頭 (令和7年4月～令和8年3月)
4	部 会 員	篠原 康宏	鹿沼商工高等学校全日制教頭 (令和6年4月～令和7年3月)
		桑川 國生	鹿沼商工高等学校全日制教頭 (令和7年4月～令和8年3月)
5	部 会 員	大石 務	鹿沼商工高等学校定時制教頭
6	部 会 員	齋藤 里恵	鹿沼南高等学校事務長
7	部 会 員	生澤 善範	鹿沼商工高等学校事務長
8	部 会 員	小林 正信	鹿沼南高等学校主幹教諭
9	部 会 員	斉藤 直子	鹿沼商工高等学校主幹教諭
10	部 会 員	木村 雅則	鹿沼南高等学校教務主任
11	部 会 員	鬼平 知子	鹿沼商工高等学校全日制教務主任
12	部 会 員	上杉 寛	鹿沼商工高等学校定時制教務主任
13	部 会 員	中村 美樹	県教育委員会高校教育課副主幹 (令和6年4月～令和7年3月)
14	部 会 員	佐山 明示	県教育委員会高校教育課指導主事 (令和6年4月～令和7年3月)
		松本 裕司	県教育委員会高校教育課指導主事 (令和7年4月～令和8年3月)
15	部 会 員	飯田 佳史	県教育委員会高校教育課指導主事
16	部 会 員	藤澤 暢恒	県教育委員会高校教育課指導主事
17	部 会 員	鈴木 大吾	県教育委員会教育政策課高校再編推進班副主幹
18	部 会 員	片柳 剛史	県教育委員会教育政策課高校再編推進班指導主事

# 鹿沼南高・鹿沼商工高新校設立準備組織体系図

## 1 組織図



## 2 各担当の主な職務

### (1) 各小部会

小部会名	検討事項	担当者	
		鹿沼南高	鹿沼商工高
未来共創検討小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程の編成及び両校間の連絡・調整</li> <li>「総合的な探究の時間」の計画案作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>「未来共創型専門高校」としての特色づくり立案</li> </ul>	主幹教諭 各学科長	主幹教諭 各学科長
教育課程小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程案の検討</li> <li>授業時数・使用教室・選択科目等のシミュレーション及び両校間の連絡調整</li> </ul>	主幹教諭 教務主任	主幹教諭 教務主任
教務小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>校務分掌組織案、職務分析案の作成及び両校の連絡・調整</li> <li>年間行事計画案、関係諸規定案の作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>学校要覧、学校案内、リーフレットHP案の作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>入学者選抜作業体系の整備及び両校間の連絡・調整</li> <li>修学旅行、飯塚毅奨学金に関する案の作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>校名、校歌、校章の制作方針検討及び両校間の連絡・調整</li> </ul>	教務主任 教務副主任	教務主任 教務副主任
学習指導小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験等の年間行事計画案作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>学習指導関係諸規定案の作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>シラバス案の作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>成績処理に関する検討及び両校間の連絡・調整</li> </ul>	学習指導部長	学習指導部長
進路指導小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路関係行事等の検討及び両校間の連絡・調整</li> <li>進路指導諸規定案の作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>進路指導に関する手引き案の作成及び連絡・調整</li> <li>就職、進学選考会議の調整と方針の検討</li> <li>進路指導に係る情報管理作業体制の整備</li> </ul>	進路指導部長	進路指導部長
生徒指導小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間指導計画案の作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>生徒指導関係諸規定案の作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>関係諸表簿及び生徒心得等案の作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>制服の検討及び両校間の連絡・調整</li> <li>交通指導體制案、校外団体等との連携協力体制案の作成及び連絡・調整</li> </ul>	生徒指導部長	生徒指導部長
特別指導小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会関係の検討及び両校間の連絡・調整</li> <li>部活動関係の検討及び両校間の連絡・調整</li> <li>年間指導計画案、関係諸規定案の作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>LHR年間指導計画案の作成及び両校間の連絡・調整</li> </ul>	特別活動部長	特別活動部長

健康指導小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健年間計画・諸規定の素案作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>・校内安全点検体制等の素案作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>・防災計画の素案作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>・学校医との連携手順素案作成及び両校間の連絡・調整</li> </ul>	健康指導部長	健康指導部長
渉外小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P T A年間計画・諸規定の素案作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>・P T A統合後の形態の素案作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>・同窓会年間計画・諸規定の素案作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>・同窓会統合後の形態の素案作成及び両校間の連絡・調整</li> <li>・同窓会物品・同窓会名簿の扱いについて素案作成及び両校間の連絡・調整</li> </ul>	渉外部長 渉外副部長	渉外部長 渉外副部長
事務小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庶務関係（給与、旅費、修学支援金、生徒異動）</li> <li>・会計関係（歳入・歳出）</li> <li>・新校建物新改築計画</li> <li>・管財関係（営繕、建物の管理、公印、金庫）</li> <li>・物品関係（物品の移動、購入、修繕、登録）</li> <li>・団体会計（P T A、同窓会、職員親睦会）</li> </ul>	事務長 事務担当者	事務長 事務担当者
農業科小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業科教育課程の検討</li> <li>・農業科実習内容の検討</li> <li>・農業科関係設備導入の検討・準備</li> <li>・資格取得、検定試験の計画</li> <li>・実習服等の検討</li> </ul>	農業科	
工業科小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業科教育課程の検討</li> <li>・工業科実習内容の検討</li> <li>・工業科関係設備導入の検討・準備</li> <li>・資格取得、検定試験の計画</li> <li>・実習服等の検討</li> </ul>		工業科
商業科小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業科教育課程の検討</li> <li>・商業科実習内容の検討</li> <li>・商業科関係設備移設の検討・準備</li> <li>・資格取得、検定試験の計画</li> </ul>		商業科
家庭科小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科教育課程の検討</li> <li>・家庭科実習内容の検討</li> <li>・家庭科関係設備導入の検討・準備</li> <li>・資格取得、検定試験の計画</li> </ul>	家庭科	
定時制小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時制校舎の使用教室、設備、物品等の検討</li> <li>・日課表の作成</li> <li>・教育課程の編成</li> <li>・学則、関係諸規定、年間行事計画案の作成</li> <li>・学校要覧、学校案内、リーフレットHP案の作成</li> </ul>		定時制

(2) 各検討委員会

検討委員会名	検討事項	鹿沼南高校	鹿沼商工高校
校歌・校章 検討委員会	・校歌制作についての検討 ・校章制作についての検討	教務主任 他2名	教務主任 他2名
制服検討委員会	・制服についての検討	生徒指導部長 他5名	生徒指導部長 他5名

## 資料5

### 鹿沼南高・鹿沼商工高新校設立準備委員会の審議経過

#### 第1回新校設立準備委員会

期 日 令和6(2024)年7月18日(木)

場 所 鹿沼南高校 図書室

議 事

協議事項

- 1 高校再編計画及び高校再編推進体制について
- 2 鹿沼南高校・鹿沼商工高校の学校概要について
- 3 昨年度までの検討状況について
- 4 新校設立に向けた準備組織について
- 5 今後の検討スケジュールについて
- 6 県立高校再編により設立する新校の校名選定要領について
- 7 その他

(協議事項の内容)

- ・高校再編計画及び高校再編推進体制等について県教委から説明があった。
- ・両校の学校概要について説明があった。
- ・令和7・8年度入学生教育課程等、今年度中に確定すべきことについて説明があった。
- ・設立準備に係る校内組織について説明があり、了承された。
- ・設立準備に係るスケジュールについて説明があり、了承された。
- ・県立高校再編における校名変更の考え方について県教委から説明があり、次回委員会において選定方法案を提示することが了承された。

#### 第2回新校設立準備委員会

期 日 令和6(2024)年9月20日(金)

場 所 鹿沼商工高校 会議室

議 事

協議事項

- 1 鹿沼南高・鹿沼商工高新校のスクール・ミッションについて
- 2 校名案の選定方法について
- 3 制服、校歌、校章の変更について
- 4 未来共創型専門高校の検討状況について
- 5 広報等について

(協議事項の内容)

- ・スクール・ミッションについて説明があり、鹿沼南高・鹿沼商工高新校全日制及び定時制のスクール・ミッション案について意見を聴取し、検討を継続することとなった。
- ・校名案の選定方法について説明があり、了承された。
- ・制服、校歌、校章について、検討のスケジュール等について説明があり、了承された。また、準備委員から制服について意見を聴取した。
- ・未来共創型専門高校の検討状況について説明があり、了承された。
- ・広報等について、時期や内容の説明があり、了承された。

### 第3回新校設立準備委員会

期 日 令和7(2025)年1月20日(月)

場 所 鹿沼南高校 図書室

議 事

協議事項

- 1 鹿沼南高・鹿沼商工高新校のスクール・ミッション、スクール・ポリシーについて
- 2 校名案の検討状況について
- 3 制服の検討状況について
- 4 校歌、校章の検討状況について
- 5 未来共創型専門高校の検討状況について
- 6 定時制の検討状況について

(協議事項の内容)

- ・スクール・ミッション修正案について意見を聴取し、了承された。
- ・スクール・ポリシー及び策定の方向性について説明し、了承された。
- ・校名について、5つの案に絞ってアンケートを実施することで了承された。
- ・制服についてのアンケート結果及び今後の検討スケジュールについて説明し、了承された。
- ・両校の校歌・校章について説明があり、新しい校歌・校章を制作することで了承された。また、今後のスケジュール・制作依頼者の選定について意見を聴取した
- ・未来共創型専門高校における、専門分野の学習及び幅広い知識を身に付け柔軟性や創造性を持つ人材の育成についての検討状況を報告し、意見を聴取した。
- ・定時制の現状及び今後のスケジュールについて説明し、意見を聴取した。

#### 第4回新校設立準備委員会

期 日 令和7(2025)年5月30日(金)

場 所 鹿沼商工高校 会議室

議 事

協議事項

- 1 鹿沼南高・鹿沼商工高新校の校名案について
- 2 鹿沼南高・鹿沼商工高新校の学科名案等について
- 3 鹿沼南高・鹿沼商工高新校のスクール・ポリシーについて
- 4 制服の検討状況について
- 5 校歌、校章の検討状況について
- 6 未来共創型専門高校の検討状況について
- 7 その他(定時制について)

(協議事項の内容)

- ・校名案について説明があり、部会案の「鹿沼華陵高等学校」で了承された。また、今後のスケジュールについて県教委から説明があった。
- ・全日制の学科名案及び学科目標について説明があり、各部会案の「農林科学科」「機械・土木科」「情報科学科」「商業科」「ライフデザイン科」で了承された。校名と同様、今後のスケジュールについて県教委より説明があった。
- ・全日制及び定時制のスクール・ポリシー案について意見を聴取し、了承された。
- ・全日制の制服の今後の検討スケジュールについて説明があり、了承された。また、定時制の制服は作成しないことが了承された。
- ・校歌制作の依頼候補者と制作依頼者の選定に関する部会案について説明があり、了承された。
- ・校章について、両校の生徒・保護者・同窓生・教職員から案を募集することで了承された。
- ・未来共創型専門高校について、総合的な探究の時間等で異なる学科の生徒による交流を実施することなどの報告をし、意見を聴取した。
- ・定時制について、昼間定時制になるにあたり始業終業時間等の説明があり、了承された。

#### 第5回新校設立準備委員会

期 日 令和7(2025)年9月24日(水)

場 所 鹿沼南高校 図書室

議 事

協議事項

- 1 校歌、校章について
- 2 制服の選定方法について
- 3 教育課程（案）について
- 4 栃木県立鹿沼華陵高等学校設置計画（案）について

（協議事項の内容）

- ・校歌について、作成依頼者及び今後のスケジュールについて説明があり、了承された。
- ・校章について、6つの案に絞り意見を聴取した。また、部会でさらに案を絞ってアンケートを実施することで了承された。
- ・制服について、製造業者選定過程及び今後のスケジュールについて説明があり、了承された。
- ・全日制各学科及び定時制普通科の教育課程案について説明があり、意見を聴取した。
- ・新校設置計画について説明があり、今後のスケジュールを確認した。

## 第6回新校設立準備委員会

期 日 令和8(2026)年2月17日(火)

場 所 鹿沼南高校 図書室

議 事

協議事項

- 1 校歌、校章について
- 2 制服について
- 3 栃木県立鹿沼華陵高等学校設置計画（案）について

（協議事項の内容）

- ・校歌について、完成した校歌を紹介し、了承された。
- ・制服について、冬服、夏服の見本を示し、了承された。
- ・新校設置計画について説明があり、了承された。

## 資料6

### 鹿沼南高・鹿沼商工高新校設立準備実務作業部会の審議経過

#### 第1回新校設立準備実務作業部会

期 日 令和6(2024)年7月3日(水)

場 所 鹿沼商工高校 応接室

- 議 事
- 1 今後の会議日程の検討について
  - 2 第1回新校設立準備委員会における会議資料について
  - 3 第1回新校設立準備委員会に向けた準備の進捗状況について
  - 4 第2回新校設立準備委員会の準備等について

#### 第2回新校設立準備実務作業部会

期 日 令和6(2024)年8月27日(火)

場 所 鹿沼南高校 応接室

- 議 事
- 1 鹿沼南高・鹿沼商工高新校のスクール・ミッションについて
  - 2 校名案の選定方法について
  - 3 制服、校歌、校章の変更について
  - 4 未来共創型専門高校の検討状況について

#### 第3回新校設立準備実務作業部会

期 日 令和6(2024)年9月12日(木)

場 所 鹿沼商工高校 応接室

- 議 事
- 1 第2回新校設立準備委員会について
  - 2 第3回新校設立準備委員会の準備等について

#### 第4回新校設立準備実務作業部会

期 日 令和6(2024)年11月18日(木)

場 所 鹿沼商工高校 応接室

- 議 事
- 1 第3回新校設立準備委員会会議資料について
  - 2 校歌・校章について

#### 第5回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和6(2024)年12月20日(金)
- 場 所 鹿沼商工高校 応接室
- 議 事
- 1 第3回新校設立準備委員会の開催通知について
  - 2 第3回新校設立準備委員会会議資料について
  - 3 第4回新校設立準備委員会の日程について

#### 第6回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和7(2025)年5月21日(水)
- 場 所 鹿沼商工高校 応接室
- 議 事
- 1 第4回新校設立準備委員会の開催通知について
  - 2 第4回新校設立準備委員会資料等について
  - 3 第5回新校設立準備委員会の日程について

#### 第7回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和7(2025)年8月5日(火)
- 場 所 鹿沼商工高校 応接室
- 議 事
- 1 校歌・校章の進捗について
  - 2 制服の選定方法について
  - 3 栃木県立鹿沼華陵高等学校設置計画(案)について

#### 第8回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和7(2025)年9月2日(火)
- 場 所 鹿沼南高校 応接室
- 議 事
- 1 校歌・校章の進捗について
  - 2 制服の選定方法について
  - 3 教育課程(案)について
  - 4 栃木県立鹿沼華陵高等学校設置計画(案)について

### 第9回新校設立準備実務作業部会

期 日 令和7(2025)年11月20日(木)

場 所 鹿沼南高校 応接室

- 議 事
- 1 校歌・校章の進捗について
  - 2 制服の進捗について
  - 3 栃木県立鹿沼華陵高等学校設置計画(案)について
  - 4 定時制より

### 第10回新校設立準備実務作業部会

期 日 令和8(2026)年1月28日(水)

場 所 鹿沼南高校 応接室

- 議 事
- 1 校歌・校章について
  - 2 制服の進捗について
  - 3 栃木県立鹿沼華陵高等学校設置計画(案)について

## 令和9年度入学生 農林科学科の教育課程表【全日制】

学級数 1学級

栃木県立鹿沼華陵高等学校

各教科・科目等		学年	1年	2年	3年	計	単位数合計	
		標準単位数	履修単位数	履修単位数	履修単位数			
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	2	2			2	8
		言語文化	2		3		3	
		論理国語	4			3	3	
	地理 歴史	地理総合	2		2		2	4
		歴史総合	2			2	2	
	公民	公共	2	2			2	2
	数学	数学Ⅰ	3	3			3	7
		数学A	2		2		2	
		発展数学(設)	2			2	2	
	理科	科学と人間生活	2	2			2	6
		化学基礎	2		2		2	
		生物基礎	2			2	2	
	保健 体育	体育	7~8	2	2	3	7	9
		保健	2	1	1		2	
	芸術	音楽Ⅰ	2	※ 2			0,2	2
		美術Ⅰ	2	※ 2			0,2	
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3			3	7
英語コミュニケーションⅡ		4		2	2	4		
家庭	家庭基礎	2		2		2	2	
小計			17	16	14	47	47	
専門学科において開設される各教科・科目	農業	農業と環境	2~6	6			6	37
		課題研究	2~6			4	4	
		総合実習	2~8	3	2		5	
		農業と情報	2~6	2			2	
		野菜	2~8		○ 3	△ 3	0,3,6	
		畜産	2~10		○ 3	◇ 3	0,3,6	
		栽培と環境	2~6			△ 3	0,3	
		飼育と環境	2~6			◇ 3	0,3	
		農業経営	2~6			選 2	0,2	
		食品製造	2~8		選 2		0,2	
		森林科学	2~8		● 3	▲ 3	0,3,6	
		林産物利用	2~8			▲ 3	0,3	
		造園計画	2~8		● 3		0,3	
		造園施工管理	2~6			◆ 3	0,3	
		造園植栽	2~6			◆ 3	0,3	
	測量	2~8		* 選 2	* 選 2	0,4		
	地域資源活用	2~8			2	2	4	
	工業	製図	2~8			選 2	0,2	
		工業情報数理	2~4		選 2		0,2	
		ハードウェア技術	2~8			選 2	0,2	
		コンピュータシステム技術	2~8		選 2		0,2	
	商業	ビジネス・コミュニケーション	2~4		選 2		0,2	
		情報処理	2~6			選 2	0,2	
家庭	保育基礎	2~8			選 2	0,2		
	フードデザイン	2~8		選 2		0,2		
小計			11	12	14	37	37	
総合的な探究の時間		3~6	1	1	1	3	3	
合計			29	29	29	87	87	
ホームルーム活動(週当り時数)			1	1	1	3	3	
総計			30	30	30	90	90	
備考	(設)は学校設定科目 ※1年次芸術は音楽Ⅰと美術Ⅰから選択する 2年次、生産系コースは○、環境系コースは●を選択する 3年次、生産系コースは△もしくは◇、環境系コースは▲もしくは◆を選択する * 測量は連続履修とする ・ 情報Ⅰは、農業と情報により代替する ・ 選は選択科目であり、自学科提供科目と他学科提供科目の中から2年次で2単位、3年次で2単位選択できる ・ この「教育課程」は予定であり、諸般の事情で変更することがある							

## 令和9年度入学生 機械・土木科【機械コース】教育課程表【全日制】

学級数 1学級

栃木県立鹿沼華陵高等学校

各教科・科目等		学年	1年	2年	3年	計	単位数合計	
		標準単位数	履修単位数	履修単位数	履修単位数			
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	2	2			2	8
		言語文化	2		3		3	
		論理国語	4			3	3	
	地理歴史	地理総合	2		2		2	4
		歴史総合	2			2	2	
	公民	公共	2	2			2	2
	数学	数学Ⅰ	3	3			3	10
		数学Ⅱ	4		3	2	5	
		数学A	2	2			2	
	理科	科学と人間生活	2	2			2	6
		物理基礎	2		2		2	
		化学基礎	2			2	2	
	保健体育	体育	7～8	2	2	3	7	9
		保健	2	1	1		2	
	芸術	音楽Ⅰ	2	※ 2			0,2	2
		美術Ⅰ	2	※ 2			0,2	
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3			3	7
英語コミュニケーションⅡ		4		2	2	4		
家庭	家庭基礎	2		2		2	2	
小計			19	17	14	50	50	
専門学科において開設される各教科・科目	工業	工業技術基礎	2～4	3			3	34
		課題研究	2～4			2	2	
		実習	6～12		3	4	7	
		製図	2～8	2	2	2	6	
		工業情報数理	2～4	2			2	
		工業管理技術	2～8			選 2	0,2	
		機械工作	2～8	2	2		4	
		機械設計	2～8		2	2	4	
		電子機械	2～6		選 2		0,2	
		生産技術	2～6			2	2	
	農業	農業と環境	2～6		選 2		0,2	0,2
		生物活用	2～6			選 2	0,2	
	商業	ビジネス・コミュニケーション	2～4		選 2		0,2	0,2
		情報処理	2～6			選 2	0,2	
	家庭	保育基礎	2～8			選 2	0,2	0,2
		フードデザイン	2～8		選 2		0,2	
	小計			9	11	14	34	34
総合的な探究の時間		3～6	1	1	1	3	3	
合計			29	29	29	87	87	
ホームルーム活動(週当り時数)			1	1	1	3	3	
総計			30	30	30	90	90	
備考	※1年次芸術は音楽Ⅰと美術Ⅰから選択する ・ 情報Ⅰは工業情報数理により代替する ・ 選は選択科目であり、自学科提供科目と他学科提供科目の中から2年次で2単位、3年次で2単位選択できる ・ この「教育課程」は予定であり、諸般の事情で変更することがある							

## 令和9年度入学生 機械・土木科【土木コース】教育課程表【全日制】

学級数 1学級

栃木県立鹿沼華陵高等学校

各教科・科目等		学年	1年	2年	3年	計	単位数合計		
		標準単位数	履修単位数	履修単位数	履修単位数				
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	2	2			2	8	
		言語文化	2		3		3		
		論理国語	4			3	3		
	地理歴史	地理総合	2		2		2	4	
		歴史総合	2			2	2		
	公民	公共	2	2			2	2	
	数学	数学Ⅰ	3	3			3	10	
		数学Ⅱ	4		3	2	5		
		数学A	2	2			2		
	理科	科学と人間生活	2	2			2	6	
		物理基礎	2		2		2		
		化学基礎	2			2	2		
	保健体育	体育	7~8	2	2	3	7	9	
		保健	2	1	1		2		
	芸術	音楽Ⅰ	2	※ 2			0,2	2	
		美術Ⅰ	2	※ 2			0,2		
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3			3	7	
		英語コミュニケーションⅡ	4		2	2	4		
家庭	家庭基礎	2		2		2	2		
小計			19	17	14	50	50		
専門学科において開設される各教科・科目	工業	工業技術基礎	2~4	3			3	34	
		課題研究	2~4			2	2		
		実習	6~12			3	4		7
		製図	2~8		選 2				0,2
		工業情報数理	2~4	2					2
		測量	2~6	2					2
		土木基礎力学	2~8		2	3			5
		土木構造設計	2~8	2	2				4
		土木施工	2~6		2	3			5
		社会基盤工学	2~4			選 2			0,2
	農業	農業と環境	2~6		選 2		0,2	0,2	
		生物活用	2~6			選 2	0,2		
	商業	ビジネス・コミュニケーション	2~4		選 2		0,2	0,2	
		情報処理	2~6			選 2	0,2		
	家庭	保育基礎	2~8			選 2	0,2	0,2	
		フードデザイン	2~8		選 2		0,2		
	小計			9	11	14	34	34	
	総合的な探究の時間		3~6	1	1	1	3	3	
合計			29	29	29	87	87		
ホームルーム活動(週当り時数)			1	1	1	3	3		
総計			30	30	30	90	90		
備考	※1年次芸術は音楽Ⅰと美術Ⅰから選択する ・ 情報Ⅰは工業情報数理により代替する ・ 選は選択科目であり、自学科提供科目と他学科提供科目の中から2年次で2単位、3年次で2単位選択できる ・ この「教育課程」は予定であり、諸般の事情で変更することがある								

## 令和9年度入学生 情報科学科 教育課程表【全日制】

学級数 1学級

栃木県立鹿沼華陵高等学校

各教科・科目等		学年	1年	2年	3年	計	単位数合計	
		標準単位数	履修単位数	履修単位数	履修単位数			
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	2	2			2	8
		言語文化	2		3		3	
		論理国語	4			3	3	
	地理 歴史	地理総合	2		2		2	4
		歴史総合	2			2	2	
	公民	公共	2	2			2	2
	数学	数学Ⅰ	3	3			3	10
		数学Ⅱ	4		3	2	5	
		数学A	2	2			2	
	理科	科学と人間生活	2	2			2	6
		物理基礎	2		2		2	
		化学基礎	2			2	2	
	保健 体育	体育	7~8	2	2	3	7	9
		保健	2	1	1		2	
	芸術	音楽Ⅰ	2	※ 2			0,2	2
		美術Ⅰ	2	※ 2			0,2	
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3			3	7
		英語コミュニケーションⅡ	4		2	2	4	
家庭	家庭基礎	2		2		2	2	
小計			19	17	14	50	50	
専門学科において開設される各教科・科目	工業	工業技術基礎	2~4	3			3	34
		課題研究	2~4			3	3	
		実習	6~12		3	3	6	
		製図	2~8		2	2	4	
		工業情報数理	2~4	2			2	
		工業管理技術	2~8		選 2		0,2	
		電子機械	2~6			2	2	
		生産技術	2~6	2	2		4	
		プログラミング技術	2~6		2	2	4	
		ハードウェア技術	2~8	2			2	
		コンピュータシステム技術	2~8			選 2	0,2	
	農業	農業と環境	2~6		選 2		0,2	0,2
		生物活用	2~6			選 2	0,2	
	商業	ビジネス・コミュニケーション	2~4		選 2		0,2	0,2
		情報処理	2~6			選 2	0,2	
	家庭	保育基礎	2~8			選 2	0,2	0,2
		フードデザイン	2~8		選 2		0,2	
	小計			9	11	14	34	34
総合的な探究の時間		3~6	1	1	1	3	3	
合計			29	29	29	87	87	
ホームルーム活動(週当り時数)			1	1	1	3	3	
総計			30	30	30	90	90	
備考	※1年次芸術は音楽Ⅰと美術Ⅰから選択する ・ 情報Ⅰは工業情報数理により代替する ・ 選は選択科目であり、自学科提供科目と他学科提供科目の中から2年次で2単位、3年次で2単位選択できる ・ この「教育課程」は予定であり、諸般の事情で変更することがある							

## 令和9年度入学生 商業科 教育課程表【全日制】

学級数 2学級

栃木県立鹿沼華陵高等学校

各教科・科目等		学年	1年	2年	3年	計	単位数合計	
		標準単位数	履修単位数	履修単位数	履修単位数			
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	2	2			2	8
		言語文化	2		3		3	
		論理国語	4			3	3	
	地理	地理総合	2		2		2	4
		歴史総合	2			2	2	
	公民	公共	2	2			2	2
	数学	数学Ⅰ	3	3			3	7
		数学A	2		2		2	
		発展数学(設)	2			2	2	
	理科	科学と人間生活	2	2			2	4
		生物基礎	2		2		2	
	保健 体育	体育	7~8	2	2	3	7	9
		保健	2	1	1		2	
	芸術	音楽Ⅰ	2	※ 2			0,2	2
		美術Ⅰ	2	※ 2			0,2	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3			3	7	
	英語コミュニケーションⅡ	4		2	2	4		
家庭	家庭総合	4		2	2	4	4	
小計			17	16	14	47	47	
専門学科において開設される各教科・科目	商業	ビジネス基礎	2~4	2			2	37
		課題研究	2~4			2	2	
		総合実践	2~4			2	2	
		ビジネス・コミュニケーション	2~4	2			2	
		マーケティング	2~4		選 2		0,2	
		ビジネス・マネジメント	2~4			2	2	
		ビジネス法規	2~4			選 2	0,2	
		簿記	2~6	4			4	
		財務会計Ⅰ	2~6		4		4	
		財務会計Ⅱ	2~4			□ 3	0,3	
		原価計算	2~6		3		3	
		情報処理	2~6	3			3	
		ソフトウェア活用	2~6		3		3	
	ネットワーク活用	2~4			3	3		
	ネットワーク管理	2~6			□ 3	0,3		
	農業	農業と環境	2~6		選 2		0,2	
		生物活用	2~6			選 2	0,2	
	工業	製図	2~8			選 2	0,2	
		工業情報数理	2~4		選 2		0,2	
		ハードウェア技術	2~8			選 2	0,2	
		コンピュータシステム技術	2~8		選 2		0,2	
	家庭	保育基礎	2~8			選 2	0,2	
		フードデザイン	2~8		選 2		0,2	
小計			11	12	14	37	37	
総合的な探究の時間		3~6		1	1	1	3	3
合計			29	29	29	87	87	
ホームルーム活動(週当り時数)			1	1	1	3	3	
総計			30	30	30	90	90	
備考	(設)は学校設定科目 ※1年次芸術は音楽Ⅰと美術Ⅰから選択 ・3年次口科目の中から1科目を選択する ・情報Ⅰは情報処理により代替する ・選は選択科目であり、自学科提供科目と他学科提供科目の中から2年次で2単位、3年次で2単位選択できる ・この「教育課程」は予定であり、諸般の事情で変更することがある							

令和9年度入学生 ライフデザイン科 教育課程表【全日制】

学級数 1学級

栃木県立鹿沼華陵高等学校

各教科・科目等		学年	1年	2年	3年	計	単位数合計	
		標準単位数	履修単位数	履修単位数	履修単位数			
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	2	2			2	8
		言語文化	2		3		3	
		論理国語	4			3	3	
	地理	地理総合	2		2		2	4
		歴史総合	2			2	2	
	公民	公共	2	2			2	2
	数学	数学Ⅰ	3	3			3	7
		数学A	2		2		2	
		発展数学(設)	2			2	2	
	理科	科学と人間生活	2	2			2	6
		化学基礎	2		2		2	
		生物基礎	2			2	2	
	保健 体育	体育	7~8	2	2	3	7	9
		保健	2	1	1		2	
	芸術	音楽Ⅰ	2	2			2	4
		音楽Ⅱ	2		2		2	
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3			3	7
		英語コミュニケーションⅡ	4		2	2	4	
	家庭	家庭総合	4	2	2		4	4
小計			19	18	14	51	51	
専門学科において開設される各教科・科目	家庭	生活産業基礎	2	2			2	33
		課題研究	2~4			4	4	
		生活産業情報	2~4	2	2		4	
		消費生活	2~4			2	2	
		保育基礎	2~8		○ 6		0,6	
		保育実践	2~8			○ 6	0,6	
		ファッション造形基礎	2~8	3			3	
		ファッション造形	2~10		選 2		0,2	
		服飾手芸	2~4			選 2	0,2	
		フードデザイン	2~8	2			2	
		食文化	1~4			● 2	0,2	
		調理	2~14		● 4	● 4	0,8	
	食品	2		● 2		0,2		
	農業	農業と環境	2~6		選 2		0,2	
		生物活用	2~6			選 2	0,2	
	工業	製図	2~8			選 2	0,2	
		工業情報数理	2~4		選 2		0,2	
		ハードウェア技術	2~8			選 2	0,2	
		コンピュータシステム技術	2~8		選 2		0,2	
	商業	ビジネス・コミュニケーション	2~4		選 2		0,2	
情報処理		2~6			選 2	0,2		
小計			9	10	14	33	33	
総合的な探究の時間		3~6		1	1	1	3	3
合計			29	29	29	87	87	
ホームルーム活動(週当り時数)			1	1	1	3	3	
総計			30	30	30	90	90	
備考	(設)は学校設定科目 ○(保育)または●(調理)を選択する ・ 情報Ⅰは、生活産業情報により代替する ・ 選は選択科目であり、自学科提供科目と他学科提供科目の中から2年次で2単位、3年次で2単位選択できる ・ この「教育課程」は予定であり、諸般の事情で変更することがある							

令和9年度入学生 普通科 教育課程表【定時制】 四修制

学級数 1学級

栃木県立鹿沼華陵高等学校

各教科・科目等		学年	1年	2年	3年	4年	計	単位数合計	
		標準単位数	履修単位数	履修単位数	履修単位数	履修単位数			
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科 ・ 科 目	国語	現代の国語	2	3			3	10	
		言語文化	2		3		3		
		文学国語	4			2	2		4
	地理歴史	地理総合	2			2		2	4,7
		歴史総合	2		2			2	
		日本史探究	3			● 3	● 3	0,3	
	公民	公共	2	2				2	2
	数学	基礎からの数学(設)	2	2				2	8
		数学Ⅰ	3		2	2		4	
		数学A	2				2	2	
	理科	科学と人間生活	2	2				2	8
		化学基礎	2				3	3	
		生物基礎	2			3		3	
	保健体育	体育	7~8	3	2	2	2	9	11
		保健	2	1	1			2	
	芸術	音楽Ⅰ	2		2			2	2,4,6
		音楽Ⅱ	2			○ 2	○ 2	0,2	
		美術Ⅰ	2			○ 2	○ 2	0,2	
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3	2			5	9
		論理・表現Ⅰ	2			2	2	4	
家庭	家庭基礎	2		2			2	2	
情報	情報Ⅰ	2	2				2	2	
小計			18	16	13~18	11~16	58~65	58~65	
専 門 学 科 に お い て 開 設 さ れ る 各 教 科 ・ 科 目	農業	農業と環境	2~6			○ 2	○ 2	0,2	4~14
	商業	ビジネス基礎	2~4		2			2	
		マーケティング	2~4				2	2	
		ビジネスコミュニケーション	2~4			● 3	● 3	0,3	
	家庭	保育基礎	2~8			● 3	● 3	0,3	
	体育	スポーツⅡ	2~13			○ 2	○ 2	0,2	
小計				2	0~5	2~7	4~14	4~14	
総合的な探究の時間		3~6	1	1	1	1	4	4	
合計			19	19	19	19	76	76	
ホームルーム活動(週当たり時数)			1	1	1	1	4	4	
総計			20	20	20	20	80	80	
備考	(設)は学校設定科目 ○●からそれぞれ1科目を選択する ○●3年次で選択した科目は、4年次に選択できない ・履修の仕方や開講人数の定め及び単位の認定・卒業の認定の詳細については別に定める規定に基づく ・この「教育課程」は予定であり、諸般の事情で変更することがある								

令和9年度入学生 普通科 教育課程表【定時制】三修制(2年次以降三修制)

学級数 1学級

栃木県立鹿沼華陵高等学校

各教科・科目等		学年	1年	2年	3年	計	単位数合計	
		標準単位数	履修単位数	履修単位数	履修単位数			
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	2	3			3	10
		言語文化	2		3		3	
		文学国語	4			4	4	
	地理歴史	地理総合	2			2	2	7
		歴史総合	2		2		2	
		日本史探究	3			3	3	
	公民	公共	2	2			2	2
	数学	基礎からの数学(設)	2	2			2	8
		数学Ⅰ	3		2	2	4	
		数学A	2		2		2	
	理科	科学と人間生活	2	2			2	8
		化学基礎	2		3		3	
		生物基礎	2			3	3	
	保健体育	体育	7~8	3	2	2	7	9
		保健	2	1	1		2	
	芸術	音楽Ⅰ	2		2		2	2,4
		音楽Ⅱ	2			○ 2	0,2	
		美術Ⅰ	2			○ 2	0,2	
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3	2		5	11
		論理・表現Ⅰ	2		2	2	4	
英語活用(設)		2			2	2		
家庭	家庭基礎	2		2		2	2	
情報	情報Ⅰ	2	2			2	2	
小計			18	23	20~22	61~63	61~63	
専門学科において開設される各教科・科目	農業	農業と環境	2~6			○ 2	0,2	9~11
	商業	ビジネス基礎	2~4		2		2	
		情報処理	2~6		2	2	4	
		ビジネスコミュニケーション	2~4			● 3	0,3	
	家庭	保育基礎	2~8			● 3	0,3	
	体育	スポーツⅡ	2~13			○ 2	0,2	
小計				4	5~7	9~11	9~11	
総合的な探究の時間		3~6	1	1	1	3	3	
合計			19	28	28	75	75	
ホームルーム活動(週当たり時数)			1	1	1	3	3	
総計			20	29	29	78	78	
備考	(設)は学校設定科目 ○●からそれぞれ1科目を選択する ・履修の仕方や開講人数の定め及び単位の認定・卒業の認定の詳細については別に定める規定に基づく ・この「教育課程」は予定であり、諸般の事情で変更することがある							

## 定時制 普通科 日課表

### 四修制

S H R	9 : 0 0	~	9 : 1 0
第 1 限目	9 : 1 5	~	1 0 : 0 0
第 2 限目	1 0 : 1 0	~	1 0 : 5 5
第 3 限目	1 1 : 0 5	~	1 1 : 5 0
第 4 限目	1 2 : 0 0	~	1 2 : 4 5
清 掃	1 2 : 4 5	~	1 2 : 5 5
下 校	1 2 : 5 5		

授業時間 4 5 分 休憩 1 0 分

### 三修制

S H R	9 : 0 0	~	9 : 1 0
第 1 限目	9 : 1 5	~	1 0 : 0 0
第 2 限目	1 0 : 1 0	~	1 0 : 5 5
第 3 限目	1 1 : 0 5	~	1 1 : 5 0
第 4 限目	1 2 : 0 0	~	1 2 : 4 5
清 掃	1 2 : 4 5	~	1 2 : 5 5
昼 休 み	1 2 : 5 5	~	1 3 : 3 0
第 5 限目	1 3 : 3 0	~	1 4 : 1 5
第 6 限目	1 4 : 2 5	~	1 5 : 1 0
下 校	1 5 : 1 0		

授業時間 4 5 分 休憩 1 0 分

午前の授業（第1限から第4限まで）を履修し、4年間で卒業する四修制を基本とするが、2年次以降に午後の授業（第5限及び第6限）を履修することで、3年間での卒業が可能となる三修制を選択することができる。

## 資料8

### 校歌、校章について

#### 1 校歌

作詞者 水樹 涼子 氏

作家 鹿沼市（旧栗野町）出身 下野市在住

東京女子大学文理学部日本文学科卒業

とちぎ未来大使 鹿沼市ふるさと大使 鹿沼南高校校歌を作詞

作曲者 矢内 弘子 氏

作曲家 下野市在住

宇都宮大教育学部音楽科卒業 東京芸術大学音楽学部別科作曲専攻修了

鹿沼南高校校歌、下野市の歌、小山市立東城南小学校校歌を作曲

#### 2 校章

##### 校章制定の流れ

令和7年7～8月 鹿沼南高校、鹿沼商工高校の在校生・保護者・同窓生・教職員から校章デザイン募集

9月 校歌・校章検討委員会で校章候補作品選出

(応募総数 285 点から 6 点を選出)

9月24日 新校設立準備委員会で校章候補作品 6 点について承認を得る

11月20日 新校設立準備実務作業部会で候補作品 6 点から 3 点を選定

12月17日 校章案 3 点について鹿沼南高校、鹿沼商工高校の在校生、教職員へアンケートを実施

1月 校章アンケートの結果を踏まえ、校歌・校章検討委員会で校章案 1 点を選定

令和8年2月17日 新校設立準備委員会で鹿沼華陵高校校章制定

# 栃木県立今市高等学校 設置計画

令和8（2026）年3月

今市高・今市工業高・日光明峰高新校設立準備委員会

## 目 次

1	新校の基本的枠組み	p. 2
2	スクール・ミッション、スクール・ポリシー、生活指標	p. 3・4
3	校歌、校章	p. 5・6
4	校地・校舎	p. 6
5	施設・設備	p. 7

資料1 今市高・今市工業高・日光明峰高新校設立準備委員会設置要綱

資料2 今市高・今市工業高・日光明峰高新校設立準備委員会委員名簿

資料3 今市高・今市工業高・日光明峰高新校設立準備実務作業部会部会員名簿

資料4 今市高・今市工業高・日光明峰高新校設立準備組織体系図

資料5 今市高・今市工業高・日光明峰高新校設立準備委員会の審議経過

資料6 今市高・今市工業高・日光明峰高新校設立準備実務作業部会の審議経過

資料7 今市高等学校 令和9(2027)年度入学生教育課程表

資料8 今市高等学校 校歌・校章制作者略歴

# 1 新校の基本的枠組み

## (1) 第三期県立高等学校再編計画

令和9(2027)年度に、今市高校と今市工業高校と日光明峰高校の3校を統合し、総合学科高校へ再編する。

## (2) 校名

とちぎけんりついまいちこうとうがっこう  
【校名】 「**栃木県立今市高等学校**」

### 【命名の趣旨】

新校の校地が今市地区にあり、その所在地名のみの端的な校名とすることで、分かりやすく、地域に親しまれ、愛される学校となってほしいという願いが込められている。

## (3) 設置場所

栃木県日光市千本木432番地

## (4) 開校年月日

令和9(2027)年4月1日

## (5) 設置学科・募集定員

【設置学科】 総合学科

【募集定員】 240人

## 2 スクール・ミッション、スクール・ポリシー、生活指標

### (1) スクール・ミッション

生徒一人一人の自己実現に向けた多様な学びを通して、次代を切り拓くリーダーとして地域の発展に主体的・協働的に貢献できる人材を育成する学校

### (2) スクール・ポリシー

#### ア グラデュエーション・ポリシー

- 自己を探究し、夢や目標に向かい、生涯にわたり粘り強く学び続ける力を育成します。
- 高い志をもち、自らの意志や判断に基づき、責任をもって行動する力を育成します。
- 地域や他者と協働しながら、社会課題を解決できる力を育成します。

#### イ カリキュラム・ポリシー、（丸数字は特色ある教育活動）

- 確かな学力を育むとともに、幅広い選択科目を設定し、生徒一人一人の個性を伸ばしながら多様な進路希望を実現するカリキュラムを編成します。
  - ① 人文社会、自然科学、生活福祉、スポーツ・芸術、商経・情報、電子情報の6系列を設置
  - ② 生徒の興味・関心や希望進路に対応できる多様な選択科目の開設
  - ③ 個別最適な学びを提供するための少人数授業や学習習熟度別授業等の実施
- 挑戦力・創造力・協働力を育むため、生徒が主体的に取り組む特別活動等を実施します。
  - ① チーム力向上のための生徒主体による学校行事や年次行事、生徒会活動等の実施
  - ② 明確な目標設定による個々の力を十分に発揮できる部活動の実施
  - ③ 地域貢献活動やボランティア活動への積極的な参加の奨励
- 地域と連携したり、自己の生き方を考察したりしながら、自ら課題解決を目指す探究活動を実施します。
  - ① 地域の産業・観光・文化・歴史などを通じた地元地域に関する実践的な学び

の充実

- ② 地域と連携・協働し、地域の課題やその解決策を探究する活動の実施
- ③ 自己探求を通して自己理解を深め進路実現につなげる探究活動の実施

○地域や社会で活躍できる人材の育成に向けて、3年間を見通したキャリア教育を実施します。

- ① キャリアプランニング能力を育み、主体的に進路を選択する態度を育成する進路指導の実施
- ② 将来の生き方や社会との関わりについての学びを深めるための進路ガイダンスや分野別体験授業等の実施
- ③ 授業や学校行事等、教育活動全般におけるリーダーシップ教育の実施

#### ウ アドミッション・ポリシー

- 基礎学力と基本的な生活習慣が身に付いていて、将来の夢や目標に向けて頑張ろうとする生徒
- 学校行事・生徒会活動・部活動等に自他を尊重しながら積極的に取り組み、自分を高める努力ができる生徒
- 疑問や課題に感じたことに対して、工夫しながら解決策を見いだそうとする熱意のある生徒
- 資格を取得したり、大会等や地域での活動に参加したりするなど、様々なことに挑戦する意欲のある生徒

### (3) 生活指標

**進取      志高      自律**

### 3 校歌、校章

#### (1) 校歌

作詞 ミマス  
作曲 青木 愛  
編曲 青木 愛

遠き山並み 美しき空  
はるか時を繋ぐ 並木道

高くそびえたつ二荒山のように  
強く眼差しを 空に向けよう

さあ 未来へ巣立つ日を夢見て  
いま 深く学び 歩むべき道を行こう  
ああ 三年を憩い集う学舎  
われら 今市高校

ともに描こう 大きな夢を  
青く薫る風に 歌をのせて

清く澄みわたる大谷川のように  
広く果てしない 海を目指そう

さあ 心を憧れで満たして  
日々 友と語り よろこびの種をまこう  
ああ 希望の花が育つふるさと  
われら 今市高校

ともに育てた 実りを胸に  
進むそれぞれの道 はるか続く

空に立ち昇る あの朝陽のように  
われら輝いて いま飛びたとう

さあ 世界を幸せで彩る  
光をたずさえ 明日へと羽ばたこう  
ああ 気高き永遠に愛する母校  
われら 今市高校

## (2) 校章



### 意匠解説

「メビウスの輪（ひねりが入った円）」から着想を得た、ボリューム感の感じられる円状のデザインとした。「メビウスの輪」は、表裏の区別がなくエンドレスに続くことから、将来にわたる無限の成長・活躍を意味する。三角柱のような3つの側面を持つ棒状の立体が、ねじれながら円状に繋がっていくデザインは、統合する3校が新校に受け継がれていくことを表した。

色彩は、日光市の象徴の一つであり、統合する3校の生徒たちを創立以来見守り続け、これからも見守り続けていく杉並木の杉の葉の深い緑をベースとした。また、グラデーションにすることで表裏の区別なくねじれながら繋がっていく立体感を表現した。

3校が統合してできた今市高校で学ぶ生徒たちが、世界に向かって無限に発展・成長・活躍して欲しいという願いを込めた。

## 4 校地・校舎

今市高校の校地・校舎を使用する。

## 5 施設・設備

### (1) 大教室棟

産業社会と人間の授業や年次集会などの年次全員（240 人）に対する一斉指導の場として、移動可能な机椅子や視聴覚機器等を備えた大教室と、授業や部活動で使用可能なトレーニング室を備えた、大教室棟を整備する。

### (2) 工業実習教室

電子情報系列の導入に伴い、電子回路やプログラミングなど電子情報に関する実践的な学習活動を行うための教室を整備する。

### (3) 介護実習室

生活福祉系列の導入に伴い、介護に関する体験的な学習活動を行うための教室を整備する。

## 資料 1

### 今市高・今市工業高・日光明峰高新校設立準備委員会設置要綱

(趣 旨)

**第 1 条** この要綱は、「県立高校再編推進要綱」第 4 条の規定に基づき、今市高校、今市工業高校及び日光明峰高校（以下「3校」という。）に設置する新校設立準備委員会（以下「準備委員会」という。）の運営等について、必要な事項を定めるものとする。

(組 織)

**第 2 条** 準備委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

- 2 委員長は、3校の校長の協議により、いずれかの高校の校長をもって充てる。
- 3 副委員長は、前項において委員長とならない高校の校長をもって充てる。
- 4 委員は、学識経験者、地元関係者、学校関係者及び県教育委員会事務局職員等の中から10名程度を選任し、委員長が委嘱する。

(所掌事項)

**第 3 条** 準備委員会は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 新校設置計画に関すること。
- (2) 施設・設備の整備等に関すること。
- (3) 新校の広報に関すること。
- (4) その他新校への移行の円滑な推進に関すること。

(会 議)

**第 4 条** 委員長は、必要に応じて会議を招集し、これを主宰する。

- 2 委員長は、必要に応じて会議に関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。
- 3 委員長は、委員会において協議又は決定した事項については、高校再編推進本部に報告するものとする。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(実務作業部会)

**第 5 条** 準備委員会に専門的事項を調査検討するため、実務作業部会（以下「作業部会」という。）を置く。

- 2 作業部会の部会員は、委員長が指名する者をもって充てる。
- 3 作業部会の会議は、委員長が召集し、これを主宰する。
- 4 作業部会は、調査検討すべき事項ごとに、検討小部会を置くことができる。

(設置期間)

**第6条** 準備委員会の設置期間は、準備委員会が設置された日から新校が開校する年の3月31日までとする。

(庶務)

**第7条** 準備委員会の庶務は、3校の職員において処理する。

(その他)

**第8条** この要綱に定めるもののほか、準備委員会の運営等について必要な事項は、委員長が別に定める。

**附則** (令和6(2024)年1月23日付け教政第730号教育長通知)

この要綱は、令和6(2024)年2月1日から施行する。

## 資料2

## 今市高・今市工業高・日光明峰高新校設立準備委員会委員名簿

	役 職	氏 名	所 属
1	委 員 長	大岡 寿子	今市高等学校長
2	副委員長	谷中 政昭	今市工業高等学校長
3	副委員長	柴田 高志	日光明峰高等学校長 (令和6年4月～令和7年3月)
		角田 正史	日光明峰高等学校長 (令和7年4月～令和8年3月)
4	委 員	小林 岳英	日光市企画総務部長 (令和6年4月～令和7年5月)
		伊東 剛	日光市企画総務部長 (令和7年6月～令和8年3月)
5	委 員	松本 孝	日光市教育委員会事務局教育次長
6	委 員	鈴木 久子	日光市立東原中学校長
7	委 員	手塚 肇	今市高等学校同窓会長 (令和6年4月～令和7年5月)
		沼尾 源一	今市高等学校同窓会長 (令和7年6月～令和8年3月)
8	委 員	渡邊 弘	今市工業高等学校同窓会長
9	委 員	加藤 孟	日光明峰高等学校同窓会長
10	委 員	植竹 暁	県教育委員会教育政策課高校再編推進班長
11	委 員	吉川 知宏	県教育委員会高校教育課副主幹 (令和6年4月～令和7年3月)
		高松 秀行	県教育委員会高校教育課指導担当課長補佐 (令和7年4月～令和8年3月)

資料3

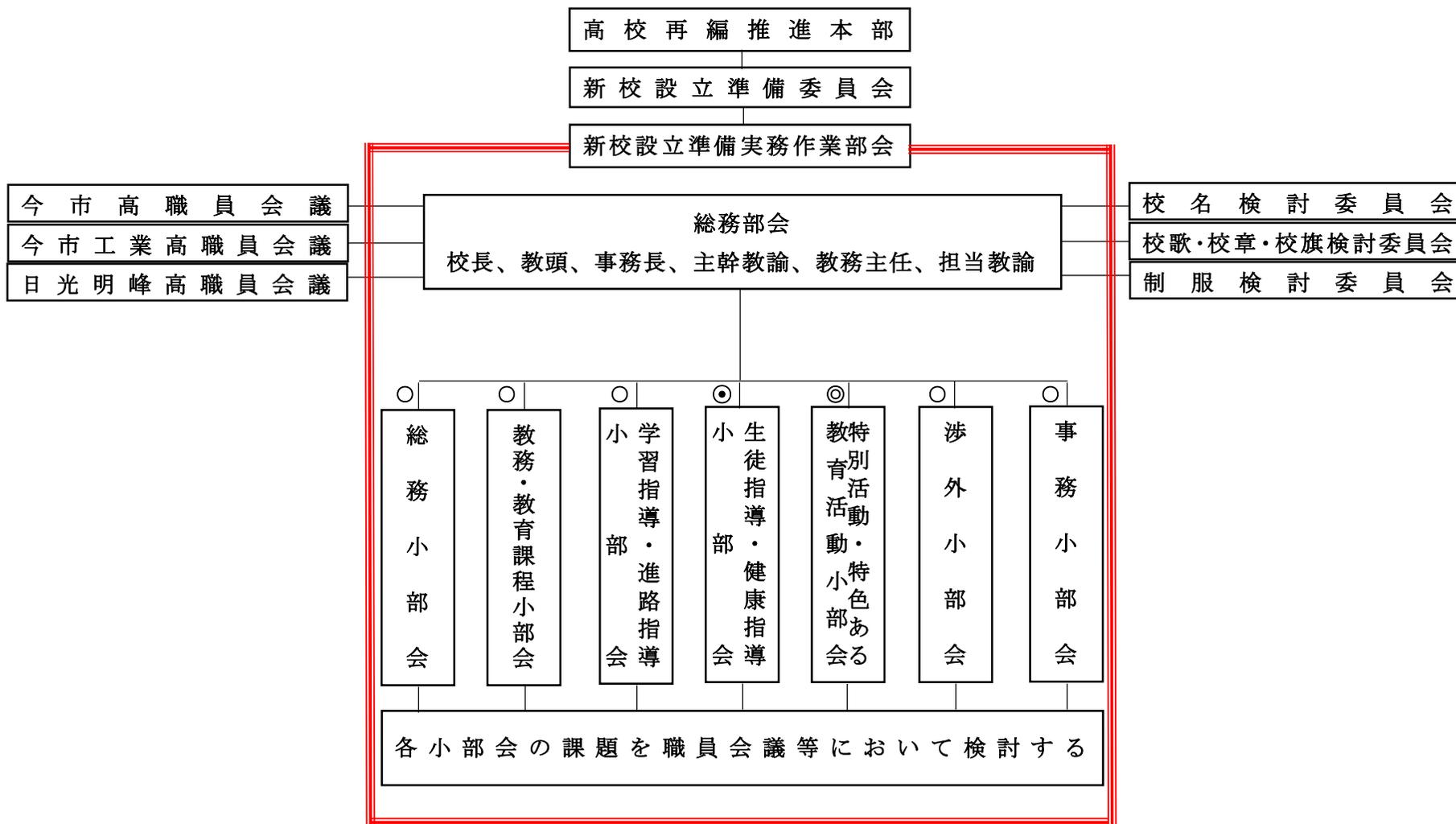
今市高・今市工業高・日光明峰高新校設立準備実務作業部会部会員名簿

	役 職	氏 名	所 属
1	部会長	大岡 寿子	今市高等学校長
2	副部会長	谷中 政昭	今市工業高等学校長
3	副部会長	柴田 高志	日光明峰高等学校長 (令和6年4月～令和7年3月)
		角田 正史	日光明峰高等学校長 (令和7年4月～令和8年3月)
4	部会員	松本 秀則	今市高等学校教頭 (令和6年4月～令和7年3月)
		赤木 潤子	今市高等学校教頭 (令和7年4月～令和8年3月)
5	部会員	赤羽 孝行	今市工業高等学校教頭
6	部会員	小川 賢一	日光明峰高等学校教頭 (令和6年4月～令和7年3月)
		田崎 哲也	日光明峰高等学校教頭 (令和7年4月～令和8年3月)
7	部会員	菊地 芳和	今市高等学校事務長 (令和6年4月～令和7年3月)
		星 和代	今市高等学校事務長 (令和7年4月～令和8年3月)
8	部会員	齋藤 啓子	今市工業高等学校事務長
9	部会員	中川 美香	日光明峰高等学校事務長
10	部会員	半田 高史	今市高等学校主幹教諭 (令和6年4月～令和7年3月)
		宮田 勇	今市高等学校主幹教諭 (令和7年4月～令和8年3月)
11	部会員	吉澤 達生	今市工業高等学校主幹教諭
12	部会員	藤井 啓太	日光明峰高等学校主幹教諭
13	部会員	大金 孝也	県教育委員会高校教育課指導担当指導主事
14	部会員	鈴木 大吾	県教育委員会教育政策課高校再編推進班副主幹
		櫻井 裕介	県教育委員会教育政策課高校再編推進班指導主事

今市高・今市工業高・日光明峰高新校設立準備組織体制

資料 4

1 組織図



○今市高校担当    ⊙今市工業高校担当    ◎日光明峰高校担当

2 各担当の主な職務

(1) 小部会

小部会名	検討事項	担当
総務小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備スケジュール関係、及び各校務分掌部との連絡・調整</li> <li>・校名・校歌・校章の制作方針の検討</li> <li>・スクール・ミッション・教育指標等の原案検討</li> <li>・制服デザインの方針・業者及び制作の検討</li> <li>・入試情報の検討</li> <li>・広報関係の検討</li> <li>・新棟新築における大教室・トレーニング室の検討</li> </ul>	○今市高主幹教諭 各校主幹教諭
教務・教育課程小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務分掌組織案・職務分析案の検討</li> <li>・学則案の検討</li> <li>・年間行事計画案・関係諸規定案の検討</li> <li>・学校要覧案・学校案内案・リーフレット案の検討</li> <li>・HP案の作成</li> <li>・教育課程の編成</li> <li>・総合学科としての特色づくり立案</li> <li>・授業時数・使用教室・選択科目等のシミュレーションの検討</li> </ul>	○今市高主幹教諭 各校教務主任 各校教務部員
学習指導・進路指導小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習部（定期試験含む）年間指導計画案の作成</li> <li>・「総合的な探究の時間」の年間指導計画案の作成</li> <li>・学習指導関係諸規定案の作成</li> <li>・シラバス案の作成</li> <li>・成績処理システムの開発及び検討</li> <li>・図書館の運営と利用に関する諸規定案の作成</li> <li>・人権教育・国際理解教育等指導計画案の作成</li> <li>・進路関係行事案の作成</li> <li>・「産業社会と人間」の年間指導計画案の作成</li> <li>・関係諸規定案・進路指導に関する手引き案の作成</li> </ul>	○今市高主幹教諭 各校学習指導主事 各校進路指導主事 各校学習（指導）部員 各校進路（指導）部員
生徒指導・健康指導小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒部・健康部年間指導計画案の作成</li> <li>・生徒指導関係諸規定案の作成</li> <li>・制服業者・体育着業者選定に伴う連絡・調整、業者との連絡</li> <li>・学校保健計画・学校安全計画・関係諸規定の検討</li> <li>・教育相談・特別支援体制の検討</li> <li>・校内安全点検体制・緊急連絡体制の検討</li> <li>・防災計画案・危機管理マニュアル案の検討</li> <li>・学校保健委員会の検討</li> </ul>	○今工高主幹教諭 各校生徒指導主事 各校保健体育主事 各校養護教諭 今市高生徒部員 今工高生徒指導部員 明峰高生活部員
特別活動・特色ある教育活動小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動関係の検討</li> <li>・学校行事の検討</li> <li>・特別活動部年間指導計画案・関係諸規定案の検討</li> <li>・生徒会関係の検討</li> <li>・LHR年間指導計画案の作成</li> </ul>	○明峰高主幹教諭 各校特活指導主任 各校特活（指導）部員
渉外小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA年間計画・諸規定の検討</li> <li>・PTAの新校開校後の形態の検討</li> <li>・同窓会の新校開校後の形態の検討</li> <li>・同窓会年間計画・諸規定の検討</li> <li>・同窓会物品・同窓会名簿の扱いについての検討</li> </ul>	○今市高主幹教諭 各校渉外主任 各校渉外部員 各校同窓会係
事務小部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庶務関係（給与、旅費、授業料、生徒異動）</li> <li>・会計関係（歳入、歳出）</li> <li>・物品関係（公印、金庫、物品の移動・購入・修繕・登録、机・昇降口下駄箱、図書）</li> <li>・要録、卒業生台帳、諸表簿（保管方法の検討）</li> <li>・団体会計（PTA、同窓会、職員親睦会）</li> </ul>	○今市高事務長 各校事務長 各校事務部員

(2) 各検討委員会

検討委員会名	検討事項	担当
校名検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校名案の募集・集計・候補の選定、アンケートの実施・集計、校名案の絞り込み等の検討</li> </ul>	○今市高教頭 各校教頭 各校主幹教諭 各校教務部員
制服検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制服についての検討（業者・デザイン・スケジュール・広報）</li> </ul>	○今市高生徒指導主事 各校生徒指導主事 今市高生徒部員 今工高生徒指導部員 明峰高生活部員
校歌・校章・校旗検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌制作についての検討</li> <li>・校章・校旗制作についての検討</li> </ul>	○明峰高教頭 各校教頭 各校教務部員

## 資料5

# 今市高・今市工業高・日光明峰高新校設立準備委員会の審議経過

### 第1回新校設立準備委員会

期 日 令和6(2024)年7月30日(火)

場 所 今市高校 図書館

議 事

協議事項

- 1 高校再編計画及び高校再編推進体制について
- 2 今市高・今市工業高・日光明峰高新校設立準備スケジュールについて
- 3 今市高・今市工業高・日光明峰高新校設立準備組織体制について
- 4 今市高・今市工業高・日光明峰高の学校要覧について
- 5 県立高校再編により設立する新校の校名選定要領及び検討スケジュールについて

(協議事項の内容)

- ・高校再編計画及び高校再編推進体制等について県教委から説明があった。
- ・設立準備に係るスケジュールについて説明があり、了承された。
- ・設立準備に係る校内組織について説明があり、了承された。
- ・3校の学校概要について説明があった。
- ・県立高校再編における校名変更の考え方について、県教委から説明後、検討スケジュールについて説明があり、了承された。

### 第2回新校設立準備委員会

期 日 令和6(2024)年10月21日(月)

場 所 今市高校 会議室

議 事

協議事項

- 1 統合新校基本概念について
- 2 校名案選定について
- 3 制服制作について
- 4 校歌・校章・校旗制作について
- 5 広報について
- 6 教育課程(系列)について
- 7 各小部会進捗状況について

(協議事項の内容)

- ・スクール・ミッションやスクール・ポリシー、生活指標、検討スケジュールについて説明があった。スクール・ミッションについては、検討を継続することとなった。

- ・校名案の選定方法について説明があり、了承された。
- ・制服について、選定の流れやアンケートの実施について説明があり、了承された。
- ・校歌・校章・校旗制作についての基本的考え方について説明があり、了承された。
- ・広報等について、時期や内容の説明があり、了承された。
- ・教育課程（系列）の設定方針や新校の系列（案）について説明があり、検討を継続することとなった。

### 第3回新校設立準備委員会

期 日 令和7(2025)年2月17日(月)

場 所 今市高校 会議室

議 事

協議事項

- 1 スクール・ミッションについて
- 2 スクール・ポリシーについて
- 3 校名について
- 4 制服について
- 5 校歌・校章・校旗について
- 6 各小部会進捗状況について

(協議事項の内容)

- ・スクール・ミッションについて説明があり、了承された。
- ・スクール・ポリシーについて説明があり、検討を継続することとなった。
- ・校名案について現在までの取組について説明し、3校で実施したアンケートを基にした8案で、中学校1年生にアンケートを実施することで了承された。
- ・制服について、コンセプトやスケジュールについて説明があり、了承された。
- ・校歌・校章の制作候補者や今後のスケジュールについて説明があり、了承された。  
また、今後のスケジュール・制作依頼者の選定について意見を聴取した。

### 第4回新校設立準備委員会

期 日 令和7(2025)年5月21日(水)

場 所 今市高校 会議室

議 事

協議事項

- 1 校名案について
- 2 スクール・ポリシーについて
- 3 生活指標について
- 4 制服について
- 5 校歌・校章・校旗について
- 6 教育課程（系列）について

## 7 小部会・委員会検討状況報告

(協議事項の内容)

- ・校名案について説明があり、部会案どおり了承された。
- ・スクール・ポリシーについて説明があり、部会案どおり了承された。
- ・生活指標について説明があり、部会案どおり了承された。
- ・校歌・校章の制作依頼者案について説明があり、部会案どおり了承された。また、今後のスケジュールについても説明があった。
- ・教育課程（系列）について説明があり、検討を継続することとなった。

## 第5回新校設立準備委員会

期 日 令和7(2025)年8月25日(月)

場 所 今市高校 図書室

議 事

協議事項

- 1 制服について
- 2 校歌・校章・校旗制作について
- 3 教育課程について
- 4 広報について
- 5 「新校設置計画」について
- 6 小部会・委員会検討状況報告

(協議事項の内容)

- ・制服製作者の選定と今後のスケジュールについて説明があり、部会案どおり了承された。
- ・校歌と校章について説明があり、部会案どおり了承された。
- ・教育課程（系列）について説明があり、部会案どおり了承された。
- ・広報計画について説明があり、部会案どおり了承された。
- ・「新校設置計画」についての説明があり、今後のスケジュールを確認した。

## 第6回新校設立準備委員会

期 日 令和7(2025)年11月14日(金)

場 所 今市高校 会議室

議 事

協議事項

- 1 教育課程について
- 2 「新校設置計画」について
- 3 校歌について
- 4 小部会・委員会検討状況報告

(協議事項の内容)

- ・教育課程について、検討の進捗状況について説明があり、検討を継続することとなった。
- ・「新校設置計画」についての説明があり、継続して準備を進めることで了承された。
- ・完成した校歌を聴き、了承された。

## 第7回新校設立準備委員会

期 日 令和8(2026)年2月17日(火)

場 所 今市高校 会議室

議 事

協議事項

- 1 校章について
- 2 教育課程について
- 3 「新校設置計画」について
- 4 その他

報告事項

- 1 制服について
- 2 体育着について
- 3 リーフレットについて

(協議事項の内容)

- ・校章について説明があり、了承された。
- ・教育課程について説明があり、了承された。
- ・「新校設置計画」について説明があり、了承された。

(報告事項の内容)

- ・制服について説明があった。
- ・体育着について説明があった。
- ・リーフレットについて説明があった。

## 資料6

### 今市高・今市工業高・日光明峰高新校設立準備実務作業部会の審議経過

#### 第1回新校設立準備実務作業部会

期 日 令和6(2024)年6月4日(火)

場 所 今市高校 会議室

- 議 事
- 1 高校再編計画及び高校再編推進体制について
  - 2 設立準備に係るスケジュール等について
  - 3 設立準備組織体制について
  - 4 高校再編により設立する新校の校名選定要領及び検討スケジュールについて
  - 5 制服作成に係る検討スケジュールについて
  - 6 広報活動に係る検討スケジュールについて

#### 第2回新校設立準備実務作業部会

期 日 令和6(2024)年8月28日(水)

場 所 ZOOMによるオンライン開催

- 議 事
- 1 統合新校基本概念について
  - 2 校名について
  - 3 制服について
  - 4 校歌、校章、制服等について
  - 5 教育課程について
  - 6 小部会検討スケジュールについて

#### 第3回新校設立準備実務作業部会

期 日 令和6(2024)年9月30日(月)

場 所 今市高校 会議室

- 議 事
- 1 第2回新校設立準備委員会について
  - 2 統合新校基本概念(スクール・ミッション)について
  - 3 校名について
  - 4 制服について
  - 5 校歌・校章・校旗について
  - 6 教育課程について
  - 7 広報について
  - 8 小部会検討状況報告

#### 第4回新校設立準備実務作業部会

期 日 令和6(2024)年12月26日(月)

- 場 所 今市高校 会議室
- 議 事 1 統合新校基本概念（スクール・ミッション）について  
2 校名について  
3 制服について  
4 校歌・校章・校旗について  
5 小部会・委員会検討状況報告

#### 第5回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和7(2025)年1月28日(火)
- 場 所 今市高校 会議室
- 議 事 1 第3回準備委員会について  
2 スクール・ポリシーについて  
3 校名について  
4 制服について  
5 校歌・校章・校旗について  
6 小部会・委員会検討状況報告

#### 第6回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和7(2025)年3月19日(水)
- 場 所 今市高校 会議室
- 議 事 1 校名について  
2 スクール・ポリシーについて  
3 生活（生徒）指標・校則について  
4 制服について  
5 入学者選抜（全国募集）について  
6 教育課程（系列）について  
7 小部会・委員会検討状況報告

#### 第7回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和7(2025)年4月23日(水)
- 場 所 今市高校 会議室
- 議 事 1 第4回準備委員会について  
2 校名について  
3 スクール・ポリシーについて  
4 生活指標について  
5 制服について  
6 校歌・校章について  
7 教育課程（系列）について

## 8 小部会・委員会検討状況報告

### 第8回新校設立準備実務作業部会

期 日 令7(2025)年6月18日(水)

場 所 今市高校 図書室

- 議 事
- 1 制服について
  - 2 校歌・校章・校旗について
  - 3 広報活動について
  - 4 教育課程について
  - 5 入試情報について
  - 6 小部会・委員会検討状況報告

### 第9回新校設立準備実務作業部会

期 日 令和7(2025)年7月24日(木)

場 所 今市高校 図書室

- 議 事
- 1 第5回準備委員会について
  - 2 制服について
  - 3 校歌・校章・校旗について
  - 4 教育課程について
  - 5 広報について
  - 6 「新校設置計画」について
  - 7 小部会・委員会検討状況報告

### 第10回新校設立準備実務作業部会

期 日 令和7(2025)年9月22日(月)

場 所 今市高校 図書室

- 議 事
- 1 制服について
  - 2 体育着について
  - 3 教育課程について
  - 4 「新校設置計画」について
  - 5 小部会・委員会検討状況報告
  - 6 その他 スクールカラーについて

### 第11回新校設立準備実務作業部会

期 日 令和7(2025)年10月16日(木)

場 所 今市高校 会議室

- 議 事
- 1 第6回準備委員会について
  - 2 教育課程について

- 3 「新校設置計画」について
- 4 制服について
- 5 体育着について
- 6 校歌について
- 7 小部会・委員会検討状況報告

#### 第12回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和7(2025)年12月25日(木)
- 場 所 今市高校 会議室
- 議 事
- 1 教育課程について
  - 2 「新校設置計画」について
  - 3 リーフレットについて
  - 4 校章について
  - 5 小部会・委員会検討状況報告
  - 6 その他

#### 第13回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和8(2026)年1月21日(水)
- 場 所 今市高校 会議室
- 議 事
- 1 第7回準備委員会について
  - 2 制服について
  - 3 校章について
  - 4 「新校設置計画」について
  - 5 教育課程について
  - 6 リーフレットについて
  - 7 小部会・委員会検討状況報告
  - 8 その他

資料 7

今市高等学校 令和9(2027)年度入学生 教育課程表

(その1)

教科	年次		1年次	2年次			3年次			単位数計	合計	
	学級数		6	6			6					
	科目	標準単位数	令和9(2027)年度	令和10(2028)年度			令和11(2029)年度					
国語	現代の国語	2	2							2	8~22	
	言語文化	2	2							2		
	論理国語	4		2		F群	2			4		
	文学国語	4			B群	4				4		
	(設)現代文総合	2		2						2		
	(設)古典総合	2								2		
	(設)現代文研究	2						I群	L群	2		
	(設)文学講読	4						2	2	4		
	(設)古典研究	2						4		2		
(設)実践国語	2								2	2		
地理 歴史	地理総合	2		2					J群	2	4~14	
	地理探究	3							4	4		
	歴史総合	2	2			D群				2		
	日本史探究	3				4				4		
	世界史探究	3				4				4		
	(設)世界文化史	4							4	4		
	(設)日本文化史	4							4	4		
	(設)地域総合研究	2								2		2
公民	公共	2	2							2	2~8	
	倫理	2							2	2		
	政治・経済	2							2	K群		2
	(設)現代社会研究	2							2			2
数学	数学I	3	3							E群	3	5~27
	数学II	4								4	4	
	数学III	3								4	4	
	数学A	2	2								2	
	数学B	2								2	2	
	数学C	2								2	2	
	(設)実用数学	2								2	2	
	(設)基礎数学	4								4	4	
(設)応用数学	4			A群					4	4		
理科	科学と人間生活	2								2	4~24	
	物理基礎	2								2		
	物理	4								2		4
	化学基礎	2	2									2
	化学	4								2		4
	生物基礎	2			2							2
	生物	4								2		4
	地学基礎	2								2		2
	(設)応用物理	2								2		2
	(設)応用化学	2								2		2
	(設)応用生物	2								2		2
	(設)基礎科学	4								4		4
(設)実験化学	2								2	2		
(設)医療生物	2								2	2		
保健 体育	体育	7~8	2	3						2	9	
	保健	2	1	1								
体育	(専)スポーツI	2~13								2	0~16	
	(専)スポーツII	2~13								2		2
	(専)スポーツIV	2~13								2		2
	(設)専攻実技	4~8								2		2
芸術	音楽I	2	○2								2	2~6
	音楽II	2								2	2	
	音楽III	2								2	2	
	美術I	2	○2								2	
	美術II	2								2	2	
	美術III	2								2	2	
	書道I	2	○2								2	
	書道II	2								2	2	
書道III	2								2	2		

教科	科目	標準単位数	1年次	2年次					3年次					単位取得 数	合計	
				B群	C群	D群	E群	F群	I群	J群	K群	L群	M群			
音楽	(専)音楽理論	2~6											2	0~12		
	(専)声楽	2~8						— 2					2			
	(専)器楽	2~8										— 2	2, 4			
	(設)応用音楽	2~4							— 2				2, 4			
美術	(専)素描	2~6										— 2	2, 4	0~14		
	(専)絵画	2~6										— 2	2, 4			
	(専)ビジュアルデザイン	2~6							— 2				2			
	(専)クラフトデザイン	2~6								— 2			2			
	(設)応用美術	2										— 2	2			
書道	(設)応用書道	2										— 2	2	0~4		
	(設)ペン習字	2										— 2	2			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3										3	9~16		
	英語コミュニケーションⅡ	4		4					G群				4			
	英語コミュニケーションⅢ	4							— 3				3			
	論理・表現Ⅰ	2	2										2			
	論理・表現Ⅱ	2										— 2	2			
	論理・表現Ⅲ	2											— 2		2	
英語	(専)総合英語Ⅰ	3~6										— 3	H群	3	2~15	
	(専)エッセイ・ライティングⅠ	2											— 2	2		
	(設)英語と文化	2											— 2	2		
	(設)実践英語	4											— 4	4		
	(設)現代英語	2										— 2	— 2	2		
	(設)異文化コミュニケーション	2											— 2	2		
	家庭基礎	2	2											2		
家庭	(専)保育基礎	2~8											— 2	2	2~18	
	(専)保育実践	2~8											— 2	2		
	(専)生活と福祉	2~4											— 2	2		
	(専)服飾文化	2~4											— 2	2		
	(専)ファッション造形基礎	2~8											— 2	— 2		4
	(専)ファッション造形	2~10											— 2	— 2		4
	(専)フードデザイン	2~8											— 2	— 2		4
	(専)食文化	1~4											— 2	2		
	(専)調理	2~14											— 2	— 2		4
福祉	(専)こころとからだの理解	2~8											— 2	2	0~8	
	(専)介護福祉基礎	2~6											— 2	2		
	(専)生活支援技術	2~12											— 2	— 2		4
商業	(専)ビジネス・コミュニケーション	2~4											— 2	2	0~28	
	(専)商品開発と流通	2~4											— 2	2		
	(専)マーケティング	2~4											— 2	2		
	(専)簿記	2~6											— 4	4		
	(専)財務会計Ⅰ	2~6											— 4	4		
	(専)原価計算	2~6											— 4	4		
	(専)情報処理	2~6											— 4	4		
	(専)ソフトウェア活用	2~6											— 2	— 2		2, 4
	(専)ネットワーク活用	2~4											— 2	2		
工業	(専)工業技術基礎	2~4											— 2	2	0~24	
	(専)製図	2~8											— 2	2		
	(専)電気回路	2~8											— 2	2		
	(専)プログラミング技術	2~6											— 2	2		
	(専)ハードウェア技術	2~8											— 2	2		
	(専)電子計測制御	2~6											— 2	2		
	(専)通信技術	2~6											— 2	2		
	(専)実習	2~12											— 2	— 2		4
	(専)電子回路	2~6											— 2	2		
(設)エレクトロニクス探究	2											— 2	2			
情報	情報Ⅰ	2	2										— 2	2	2~4	
	情報Ⅱ	2											— 2	2		
産業社会と人間		2~4	2											2	2	
総合的な探究の時間		3~6												3	3	
小計			31											31	93	
ホームルーム活動(週当たり時数)			1											1	3	
自立活動	ロードデザイン	1~3	(1)											(1)	(3)	
合計			32(33)											32(33)	96	
備考	<p>1 1年次の芸術は○印の中から1科目を選択する。</p> <p>2 2年次では、A群・B群・C群からそれぞれ1科目を、D群・E群・F群からそれぞれ4単位を選択する。</p> <p>3 3年次では、G群・H群からそれぞれ1科目を、I群・J群・K群・L群・M群からそれぞれ4単位を選択する。</p> <p>※ 科目名の前に付いている(専)は専門教科の科目を、(設)は学校設定科目を表す。</p> <p>※ 理科の「物理」、「化学」、「生物」はそれぞれに対応する基礎を付した科目を履修した後に履修できる。</p> <p>※ 外国語の「論理・表現Ⅲ」は「論理・表現Ⅱ」を履修した後に履修できる。</p> <p>※ 家庭科の「保育実践」は「保育基礎」を履修した後に履修できる。</p> <p>※ 自立活動の「ロードデザイン」は希望者のみ選択する。</p> <p>※ この教育課程は予定であり、諸般の事情で変更することがある。</p>															

## 資料8

# 今市高等学校 校歌・校章制作者略歴

## 1 校 歌

作 詞 者 ミマス 氏

音楽ユニット「アクアマリン」のキーボード、ギター、作詞・作曲担当。

代表曲『COSMOS』は全国の学校や合唱団で歌われている。

アクアマリンのライブ活動のほか、小・中学校に招かれての授業や講演を数多く実施している。

神奈川県茅ヶ崎市生まれ

作 曲 者 青木 愛 氏

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修士課程音楽文化学専攻ソルフェージュを首席で修了。二期会、日本声楽家協会、東京室内歌劇場などの伴奏ピアニストを経て渡独。ドイツ・カールスルーエ音楽大学リート科にてゾリステンエグザメン（博士課程）を最優秀で修了し、ドイツ国家演奏家資格を取得。在学中は文化庁新進芸術家海外研修員として在籍。2019年までドイツ・カールスルーエ音楽大学声楽科コレペティータ講師を勤める。

現在 栃木県立今市高等学校教諭。

栃木県日光市（旧今市市）生まれ

## 2 校 章

制 作 者 梅澤 希人 氏

宇都宮大学教育学部美術科卒業

1984年～国展出品。1993、94年新人賞受賞、94年会友、01年会員推挙

1987年栃木県芸術祭芸術祭賞受賞

1993年風の芸術展-ビエンナーレまくらざき大賞受賞

（1997年4月～2005年3月 栃木県立今市高等学校教諭）

2002年栃木県文化奨励賞受賞

現在 国画会会員 栃木県立さくら清修高等学校講師

新潟県長岡市生まれ